

平成23年

福島県感染症発生動向調査事業報告書

(平成23年1月～12月)

平成24年3月

福島県感染症情報センター
(福島県衛生研究所)
福島県感染症情報解析委員会

はじめに

感染症発生動向調査は、平成 11 年 4 月の「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の施行に基づき、各都道府県の「感染症発生動向調査事業実施要綱」によって実施されています。

福島県においても「福島県結核・感染症発生動向調査事業実施要綱」により、平成 13 年 7 月から地方感染症情報センターを福島県衛生研究所内に移管・設置して、県内の患者情報及び病原体情報を一元的に収集し、その解析と提供を行ってきました。

情報センターが収集・解析した情報は、週報・月報として定点医療機関や医師会等の関係機関に還元し、さらに、衛生研究所のホームページへ掲載することで、県民の皆様に広く情報提供を行っております。

平成 23 年は、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故により、第 10 週～第 14 週の間、情報が収集できない状態となりました。また、第 15 週以降情報収集を再開しましたが、現在なお一部地域の一部医療機関からの情報が得られない状況にあります。

このたび、平成 23 年の事業報告書を発行することになりました。発行に際し、定点医療機関をはじめ関係機関のご協力を深く感謝申し上げます。また、本報告書を広くご活用いただき、県民の感染症予防に役立てていただければ幸いです。

平成24年3月

福島県衛生研究所長 西田茂樹

目 次

I	福島県感染症発生動向調査事業実施概要	
	(1) 福島県感染症発生動向調査事業実施概要	5
	(2) 福島県感染症情報センターの概念図	6
II	福島県感染症発生動向調査事業一～五類，新型インフルエンザ等感染症全数把握及び五類感染症定点把握，法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症報告	
	(1) 一～五類，新型インフルエンザ等感染症【全数把握】対象結果報告	8
	(2) 一～五類，新型インフルエンザ等感染症【全数把握】報告調査結果（福島県・全国）	13
	(3) 五類感染症【定点把握】対象結果報告	15
	(4) 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症結果報告	43
III	検査情報	
	(1) 2011年感染症発生動向調査事業報告（ウイルス）	46
	(2) 2011年感染症発生動向調査事業報告（細菌）	54

I 福島県感染症発生動向調査事業実施概要

(1) 福島県感染症発生動向調査事業の実施概要

1 実施体制

(1) 福島県感染症発生動向調査事業実施要綱等

本事業の実施に関わる要綱等は、本誌IV 資料に掲げるとおりである。

(2) 指定届出医療機関（定点選定）

福島県感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき、指定届出医療機関【患者定点；①小児科：48 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（76）から（86）までに掲げるものについては、小児科を標榜する医療機関を小児科定点として指定する.〕、②インフルエンザ：80 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（87）については、前記で選定した小児科定点に加え、内科を標榜する医療機関を内科定点として指定し、両者を合わせてインフルエンザ定点とする.〕、③眼科：12 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（88）及び（89）については、眼科を標榜する医療機関を眼科定点とする.〕、④STD：16 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（90）から（93）については、産婦人科又は産科若しくは婦人科、性病科又は泌尿器科を標榜する医療機関を性感染症定点とする.〕、⑤基幹：7 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（94）から（101）については、患者を300人以上収容する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）を各2次医療圏域毎に一カ所以上、基幹定点とする.〕、⑥疑似症：124 定点〔対象感染症のうち、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱別表2（104）については、内科又は小児科を標榜する医療機関、（105）については、内科、小児科又は皮膚科を標榜する医療機関を疑似症定点とする.〕、及び病原体定点：21 医療機関〔各選定された患者定点の概ね10%を病原体定点とする.〕】を選定する。

(3) 福島県感染症発生動向調査企画委員会

本事業の実施の推進を図るため、福島県感染症発生動向調査企画委員会を、福島県感染症発生動向調査事業実施要綱により設置する。

(4) 福島県感染症情報解析委員会

収集した患者情報及び病原体情報を、より専門的な観点から解析、提供を行うため、福島県感染症発生動向調査企画委員会のもとに福島県感染症情報解析委員会を設置する。

2 実施状況

(1) 情報収集

ア 福島県感染症発生動向調査事業実施要綱により、患者定点として選定された医療機関は、調査単位が週（月曜日から日曜日まで）の場合は対象週の翌週の月曜日までに、月単位の場合は対象月の翌月の初日までに、FAX等で保健所に送信する。

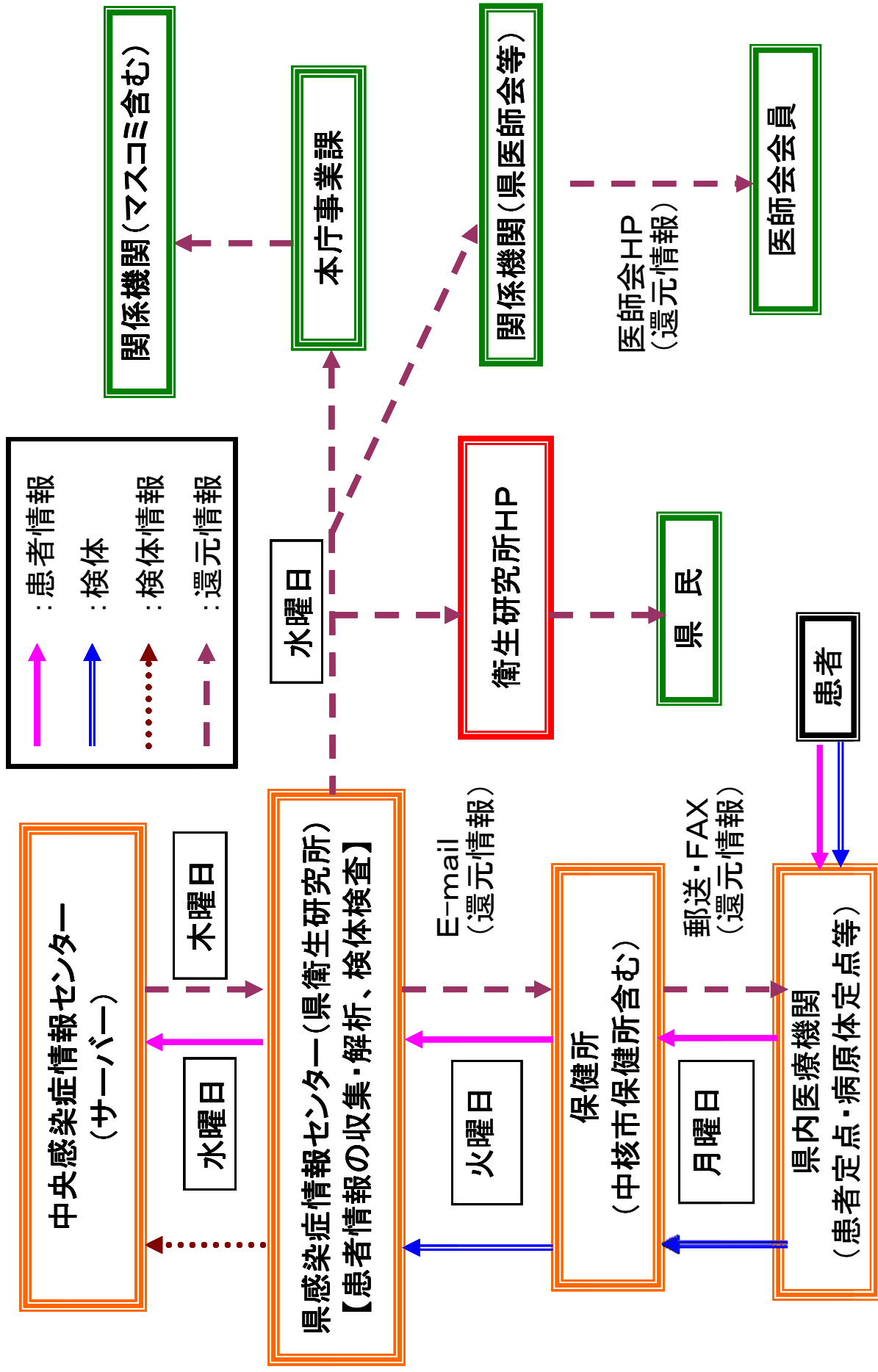
保健所は、患者定点から得られた患者情報を、調査単位が週の場合は調査対象週の翌週の火曜日までに、調査対象が月の場合は調査対象月の翌月の3日までに、福島県感染症情報センターへコンピュータ・オンラインシステムにより伝送する。

イ 福島県病原体検査実施要領により、各病原体定点から採取された検体は、福島県衛生研究所で検査を行い、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、検査情報として福島県感染症情報センター及び医療看護課に報告する。

(2) 情報還元

福島県感染症情報センターは、患者情報及び病原体情報を週単位および月単位で収集、解析するとともに、その結果を全国情報と併せて、週報及び月報等として保健所に提供するとともに福島県医師会、福島県教育委員会、その他関係機関等に提供・公開する。

(2) 感染症情報センターの概念図



Ⅱ 福島県感染症発生動向調査事業一～五類，
新型インフルエンザ等感染症全数把握及び
五類感染症定点把握，
法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症
報告

(1) 一～五類, 新型インフルエンザ等感染症全数把握対象結果報告

●一類感染症〔全数把握〕

(1) エボラ出血熱, (2) クリミア・コンゴ出血熱, (3) 痘そう, (4) 南米出血熱, (5) ペスト, (6) マールブルグ病, (7) ラッサ熱の報告はなかった。

●二類感染症〔全数把握〕

(8) 急性灰白髄炎の報告はなかった。

(9) 結核の報告は 342 例あった。

・結核報告状況

〔保健所別報告数〕

	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
23年	87	78	8	22	73	3	20	51	342
22年	73	57	7	12	61	0	24	60	294
21年	87	66	4	14	39	1	25	49	285

(10) ジフテリア, (11) 重症急性呼吸器症候群 (病原体が SARS コロナウイルスであるものに限る), (12) 鳥インフルエンザ (H5N1) の報告はなかった。

●三類感染症〔全数把握〕

(13) コレラの報告はなかった。

(14) 細菌性赤痢の報告は 23 例あり, 県北から 1 名 [35 週 (40 歳代)], 郡山市から 5 例 [9 週 (40 歳代), 34 週 (幼児, 40 歳代), 35 週 (20 歳代), 39 週 (30 歳代)], 県中から 3 名 [34 週 (20 歳代), 35 週 (40 歳代, 50 歳代)], いわき市から 14 名 [35 週 (10 歳代, 40 歳代, 50 歳代), 36 週 (幼児, 10 歳代, 50 歳代), 37 週 (30 歳代 2 名), 38 週 (20 歳代, 30 歳代 2 名, 50 歳代 2 名), 39 週 (60 歳代)] の報告があった。

・細菌性赤痢年別報告状況

	報告例	推定される感染原因・経路
23年	23 例	全国チェーンファミリーレストラン関連 (13 例), 飲食店 (8 例), 海外での飲食 (2 例)
22年	5 例	経口感染: 海産物の生もの (1 例), 海外での飲食 (2 例), 不明 (2 例)
21年	2 例	不明 (2 例)

(15) 腸管出血性大腸菌感染症の報告は 49 例あった。

・腸管出血性大腸菌感染症年別報告状況

〔保健所別報告数〕

	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
23年	25	7	4	0	1	0	8	4	49
22年	12	8	6	0	3	0	2	4	35
21年	5	14	0	3	6	0	6	1	35

〔月別報告数〕

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
23年	1	1	1	2	12	0	3	6	16	6	0	1	49
22年	0	1	0	0	0	3	4	3	13	10	1	0	35
21年	0	0	0	2	0	1	6	12	3	7	3	1	35

〔型別報告数〕

型	23年	22年	21年
O 26	24	10	15
O 103	0	2	6
O 111	4	0	0
O 121	2	1	1
O 157	15	14	10
不明他	4	8	3
計	49	35	35

(16) 腸チフス, (17) パラチフスの報告はなかった。

●四類感染症〔全数把握〕

(18) E型肝炎の報告は1例あり, 26週に郡山市(70歳代:感染地域:不明)から報告があった。

(19) ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)の報告はなかった。

(20) A型肝炎の報告は2例あり, 県南から1例[2週(50歳代,感染地域:インドネシア)], いわき市から1例[47週(70歳代,感染地域:いわき市)]の報告があった。

(21) エキノコックス症, (22) 黄熱, (23) オウム病, (24) オムスク出血熱, (25) 回帰熱, (26) キャサヌル森林病, (27) Q熱, (28) 狂犬病, (29) コクシジオイデス症,

(30) サル痘, (31) 腎症候性出血熱, (32) 西部ウマ脳炎, (33) ダニ媒介脳炎, (34) 炭疽, (35) チクングニア熱の報告はなかった。

(36) つつが虫病の報告は37例あり, 前期(1~6月)に16例[県北(3例), 郡山市(4

例), 県中 (4 例), 県南 (1 例), 会津 (4 例)], 後期 (7 ~ 12 月) に 21 例 [県北 (1 例), 郡山市 (3 例), 県中 (2 例), 県南 (15 例)] の報告があった.

• つつが虫病年別報告状況

[保健所別報告数]

	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	計
23年	4	7	6	16	4	0	0	0	37
22年	9	8	9	30	4	0	0	0	60
21年	5	22	29	35	0	0	3	2	96

[月別報告数]

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
23年	0	0	1	2	6	7	0	0	0	5	15	1	37
22年	0	0	0	1	9	6	1	0	0	5	19	19	60
21年	0	0	0	3	4	4	0	0	0	14	41	30	96

(37) デング熱, (38) 東部ウマ脳炎, (39) 鳥インフルエンザ (H5N1 を除く), (40) ニパウイルス感染症の報告はなかった.

(41) 日本紅斑熱の報告は 1 例あり, 36 週にいわき市 (10 歳代: 推定感染地域: 三重県) から報告があった.

(42) 日本脳炎, (43) ハンタウイルス肺症候群, (44) B ウイルス病, (45) 鼻疽, (46) ブルセラ症, (47) ベネズエラウマ脳炎, (48) ヘンドラウイルス感染症, (49) 発しんチフス, (50) ボツリヌス症の報告はなかった.

(51) マラリアの報告は 2 例あり, 郡山市から 2 例 [21 週 (20 歳代, 感染地域: モザンビーク), 47 週 (50 歳代, 推定感染地域: ベトナム)] の報告があった.

(52) 野兎病の報告はなかった.

(53) ライム病の報告は 1 例あり, 31 週に県北 (50 歳代: 感染地域: 福島市) から報告があった.

(54) リッサウイルス感染症, (55) リフトバレー熱, (56) 類鼻疽の報告はなかった.

(57) レジオネラ症の報告は 7 例あり, 県北から 1 例 [27 週 (60 歳代)], 郡山市から 2 例 [35 週 (60 歳代), 41 週 (60 歳代)], いわき市から 4 例 [3 週 (70 歳代), 15 週 (80 歳代), 16 週 (70 歳代), 50 週 (80 歳代)] の報告があった.

• レジオネラ症年別報告状況

	報告例	推定される感染原因・経路
23年	7 例	水系感染 (5 例), その他・不明 (2 例)
22年	13 例	水系感染 (7 例), 不明 (6 例)
21年	10 例	水系感染 (3 例), 不明 (7 例)

(58) レプトスピラ症, (59) ロッキー山紅斑熱の報告はなかった.

●五類感染症〔全数把握〕

(60) アメーバ赤痢の報告は12例あり, 県北から2例〔16週(20歳代), 46週(50歳代)], 郡山市から6例〔30週(50歳代), 34週(30歳代, 70歳代), 35週(40歳代), 36週(60歳代), 39週(30歳代)], 会津から1例〔31週(60歳代)], 相双から1例〔38週(50歳代)], いわき市から2例〔33週(50歳代), 41週(50歳代)]の報告があった.

・アメーバ赤痢年別報告状況

	報告例	推定される感染原因・経路
23年	12例	性行為感染(6例), 経口感染(4例), 不明(2例)
22年	13例	性行為感染(2例), 経口感染(3例), 不明(8例)
21年	14例	性行為感染(5例), 経口感染(1例), 不明(8例)

(61) ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)の報告は1例あり, 24週に会津(60歳代:推定感染地域:福島県)から報告があった.

(62) 急性脳炎(ウエストナイル脳炎, 西部ウマ脳炎, ダニ媒介脳炎, 東部ウマ脳炎, 日本脳炎, ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)の報告はなかった.

・急性脳炎年別報告状況

	報告例	推定される感染原因・経路
23年	0例	
22年	2例	新型インフルエンザ(1例), ムンプスウイルス(1例)
21年	12例	インフルエンザ(6例), 新型インフルエンザ(5例), リステリア・モノサイトゲネス(1例)

(63) クリプトスポリジウム症の報告はなかった.

(64) クロイツフェルト・ヤコブ病の報告は1例あり, 52週に郡山市(70歳代)から報告があった.

(65) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告は1例あり, 33週にいわき市(90歳代:感染地域:いわき市)から報告があった.

(66) 後天性免疫不全症候群の報告は5例あり, 県北から3例〔9週(50歳代:男性, 無症候期), 43週(40歳代:男性, 無症候期), 52週(20歳代:男性, 無症候期)], 郡山市から1例〔7週(30歳代:男性, AIDS発症疑い)], 会津から1例〔35週(20歳代:男性, AIDS)]の報告があった.

・後天性免疫不全症候群年別報告状況

	報告例	推定される感染原因・経路
23年	5例	性的接触（異性間性的接触1例，同性間性的接触2例），不明（2例）
22年	6例	性的接触（異性間性的接触2例，同性間性的接触1例，異性間か同性間か不明2例），不明（1例）
21年	5例	性的接触（異性間性的接触4例，同性間性的接触1例）

(67) ジアルジア症，(68) 髄膜炎菌性髄膜炎，(69) 先天性風しん症候群の報告はなかった。

(70) 梅毒の報告は4例あり，郡山市から2例〔48週（80歳代：無症候梅毒），50週（30歳代：早期顕症梅毒）〕，いわき市から2例〔31週（30歳代：早期顕症梅毒），49週（20歳代：早期顕症梅毒）〕の報告があった。

・梅毒年別報告状況

	報告例	推定される感染原因・経路
23年	4例	性的接触（3例），不明（1例）
22年	6例	性的接触（4例），不明（2例）
21年	6例	性的接触（5例），不明（1例）

(71) 破傷風の報告は1例あり，20週に県北（80歳代）から報告があった。

(72) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症，(73) バンコマイシン耐性腸球菌感染症の報告はなかった。

(74) 風しんの報告は1例あり，16週に県南（20歳代）から報告があった。

(75) 麻しんの報告はなかった。

・麻しん報告状況

	報告例	ワクチン接種歴
23年	0例	
22年	3例	無し（3例）
21年	9例	有り（2例），無し（4例），不明（3例）

(2) 一～五類, 新型インフルエンザ等感染症全数把握報告調査結果

対 象 疾 患		全 国			福 島 県		
		平成23年*	平成22年	平成21年	平成23年	平成22年	平成21年
一類	エボラ出血熱						
	クリミア・コンゴ出血熱						
	痘そう						
	南米出血熱						
	ペスト						
	マールブルグ病						
	ラッサ熱						
二類	急性灰白髄炎	1	2				
	結核	30,810	26,866	26,996	342	293	285
	ジフテリア						
	重症急性呼吸器症候群(※1)						
	鳥インフルエンザ(H5N1)						
三類	コレラ	12	11	16			
	細菌性赤痢	296	235	181	23	5	2
	腸管出血性大腸菌感染症	3,900	4,134	3,889	49	35	35
	腸チフス	22	32	29			
	パラチフス	22	21	27			
四類	E型肝炎	54	66	56	1		1
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)						
	A型肝炎	176	347	115	2	2	4
	エキノコックス症	15	17	27			
	黄 熱						
	オウム病	13	11	21			
	オムスク出血熱						
	回帰熱		1				
	キャサヌル森林病						
	Q熱	1	2	2			
	狂犬病						
	コクシジオイデス症	2	1	2			
	サル痘						
	腎症候性出血熱						
	西部ウマ脳炎						
	ダニ媒介脳炎						
	炭疽						
	チクングニア熱(※2)	10					
	つつが虫病	438	407	465	37	60	96
	デング熱	104	244	93		2	1
	東部ウマ脳炎						
	鳥インフルエンザ(※3)						
	ニパウイルス感染症						
	日本紅斑熱	178	132	132	1		
	日本脳炎	9	4	3			
	ハンタウイルス肺症候群						
	Bウイルス病						
	鼻疽						
	ブルセラ症	2	2	2			
	ベネズエラウマ脳炎						
	ヘンドラウイルス感染症						
	発しんチフス						
	ボツリヌス症	6	1				
マラリア	76	73	56	2		1	
野兔病							
ライム病	8	11	9	1			
リッサウイルス感染症							
リフトバレー熱							
類鼻疽	3	4					
レジオネラ症	804	751	717	7	13	10	
レプトスピラ症	26	22	16				
ロッキー山紅斑熱							

五類	アメーバ赤痢	803	843	786	12	13	14
	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）	241	221	223	1		
	急性脳炎（※4）	249	242	526		2	12
	クリプトスポリジウム症	8	16	17			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	130	172	142	1	8	4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	192	122	103	1		2
	後天性免疫不全症候群	1,478	1,553	1,446	5	6	5
	ジアルジア症	67	77	70		1	
	髄膜炎菌性髄膜炎	12	7	10			
	先天性風しん症候群	1		2			
	梅毒	817	621	691	4	6	6
	破傷風	111	106	113	1	1	1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症						
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	68	120	116		1	1
	風しん	369	87	147	1	1	2
	麻しん	434	447	732		3	9
新型インフルエンザ等	新型インフルエンザ（※5）			12,654			252
	再興型インフルエンザ						

*全国の平成23年のデータは未確定です

（※1）病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る

（※2）平成23年2月1日から調査開始

（※3）鳥インフルエンザ（H5N1）を除く

（※4）ウエストナイル脳炎，西部ウマ脳炎，ダニ媒介脳炎，東部ウマ脳炎，日本脳炎，ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く

（※5）平成21年8月25日以降はインフルエンザA（H1N1）に限り届出不要

(3) 五類感染症定点把握対象結果報告

● 五類感染症対象疾患（定点把握）

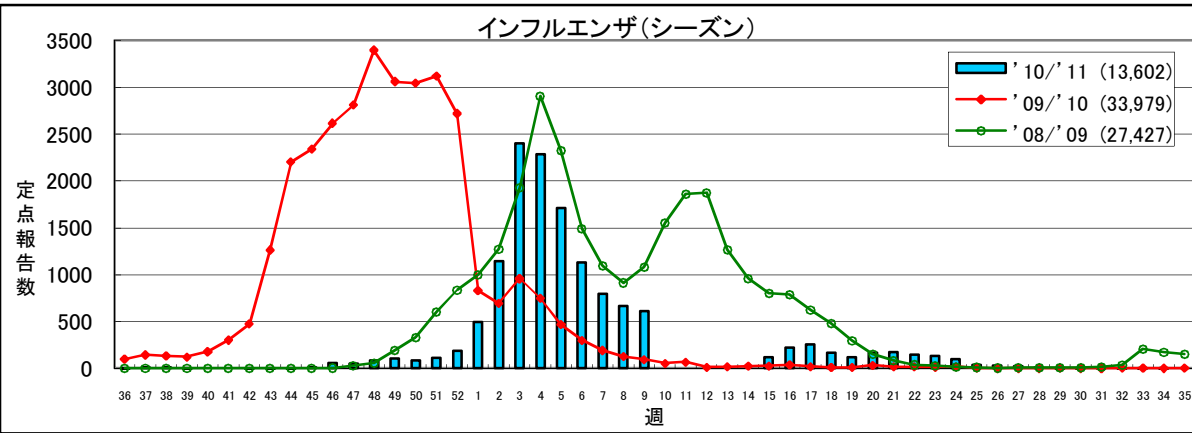
(87) インフルエンザ〔鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く〕 (80 インフルエンザ定点：32 内科定点，48 小児科定点)		週報対象疾患	
(76) RS ウイルス感染症	(48 小児科定点)		
(77) 咽頭結膜熱	(48 小児科定点)		
(78) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	(48 小児科定点)		
(79) 感染性胃腸炎	(48 小児科定点)		
(80) 水痘	(48 小児科定点)		
(81) 手足口病	(48 小児科定点)		
(82) 伝染性紅斑	(48 小児科定点)		
(83) 突発性発しん	(48 小児科定点)		
(84) 百日咳	(48 小児科定点)		
(85) ヘルパンギーナ	(48 小児科定点)		
(86) 流行性耳下腺炎	(48 小児科定点)		
(88) 急性出血性結膜炎	(12 眼科定点)		
(89) 流行性角結膜炎	(12 眼科定点)		
(94) クラミジア肺炎〔オウム病を除く〕	(7 基幹定点)		
(95) 細菌性髄膜炎	(7 基幹定点)		
(97) マイコプラズマ肺炎	(7 基幹定点)		
(98) 無菌性髄膜炎	(7 基幹定点)		
(90) 性器クラミジア感染症	(16 STD 定点)		月報対象疾患
(91) 性器ヘルペスウイルス感染症	(16 STD 定点)		
(92) 尖圭コンジローマ	(16 STD 定点)		
(93) 淋菌感染症	(16 STD 定点)		
(96) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	(7 基幹定点)		
(99) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	(7 基幹定点)		
(100) 薬剤耐性アシネトバクター感染症	(7 基幹定点)		
(101) 薬剤耐性緑膿菌感染症	(7 基幹定点)		

● 五類感染症（定点把握）患者地域別定点機関数

	小児科定点	内科定点	眼科定点	基幹定点	STD 定点
県北	10	7	3	1	4
郡山市	7	5	2	1	2
県中	6	4	1	0	2
県南	4	3	1	1	1
会津	6	4	2	1	2
南会津	2	1	0	1	0
相双	5*	3*	1	1	2*
いわき市	8	5	2	1	3
計	48*	32*	12	7	16*

*平成 24 年 2 月現在，稼働していない医療機関あり

(87) インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)



インフルエンザ (80インフルエンザ定点)

10/11シーズンの定点報告数は13,602例あり、前年と比較し半数以下に減少した(ただし、第10週～第14週は震災および原発事故の影響で情報収集をしていない。また、第15週以降についても未だ4定点からの報告が得られない状況にある)。第48週に流行を開始し、第3週にピークを迎えその後減少した。調査を再開した第15週以降多少報告数が増加したが、第25週に終息となった。

年齢構成では、5～14歳の報告が約5割(50.6%)を占めた。



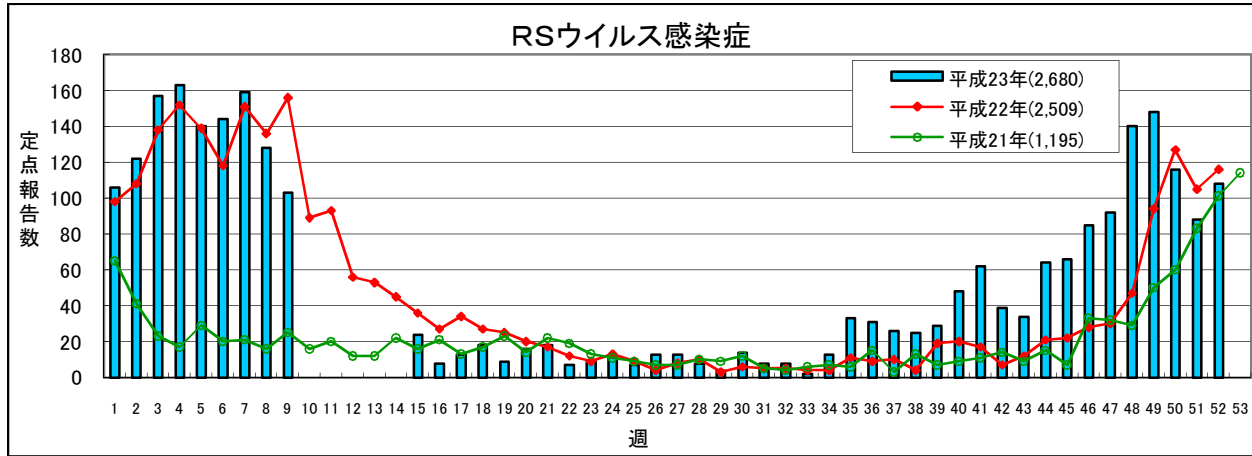
10/11シーズン 報告数

週	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w
県北	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	6	8	22	30	-	66	177	400	405	360	213	127	131	91
郡山市	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	2	6	10	34	14	18	44	-	90	214	445	434	412	241	178	130	124
県中	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	50	34	58	53	46	25	19	-	46	109	230	216	163	80	79	59	61
県南	0	9	8	1	0	0	0	0	1	0	0	4	5	5	7	10	25	-	38	96	235	222	152	136	85	69	75
会津	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	2	2	17	27	-	47	138	321	332	212	140	136	135	161
南会津	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	2	0	2	0	0	4	-	7	17	17	18	22	16	18	24	18
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	2	3	23	-	89	156	275	163	92	54	16	14	12
いわき市	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3	2	16	15	-	108	236	476	491	298	246	156	102	65
10/11	1	10	8	2	0	0	2	4	2	5	56	47	80	106	81	111	187	-	491	1143	2399	2281	1711	1126	795	664	607
09/10	99	143	132	121	177	301	474	1263	2203	2338	2616	2809	3395	3061	3044	3120	2719	1200	831	692	956	748	466	298	191	125	93
08/09	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	3	25	53	191	325	599	831	-	998	1273	1930	2905	2325	1490	1095	912	1080
週	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	合計
県北	-	-	-	-	-	52	54	46	26	12	4	7	15	20	17	6	21	18	5	1	2	1	0	3	0	0	2,261
郡山市	-	-	-	-	-	32	64	54	33	18	32	59	56	49	33	7	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2,719
県中	-	-	-	-	-	8	43	40	24	10	29	35	18	22	24	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,527
県南	-	-	-	-	-	3	15	15	18	19	23	10	10	6	10	6	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1,245
会津	-	-	-	-	-	7	20	46	36	31	27	38	34	32	15	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,810
南会津	-	-	-	-	-	10	16	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	188
相双	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	894
いわき市	-	-	-	-	-	8	6	46	20	29	47	23	13	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2,351
10/11	-	-	-	-	-	120	218	254	162	120	162	172	147	134	99	34	25	19	6	2	3	1	1	3	1	0	13,602
09/10	53	66	12	15	23	25	35	19	8	8	31	15	17	13	18	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	2	33,979
08/09	1549	1858	1871	1264	959	800	784	620	480	291	148	84	37	27	13	10	3	5	7	5	7	11	34	202	170	149	27,427

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～	合計
10/11	59	206	497	444	559	827	989	926	892	809	715	2549	709	1108	979	560	425	175	101	73	13,602
09/10	122	306	821	941	1345	1776	2124	2451	2518	2437	2350	9359	3159	1683	1279	695	368	133	74	38	33,979

(76)RSウイルス感染症



RSウイルス感染症（48小児科定点）

定点からの年間報告数は2,680例あった。前年末からの流行に引き続き、3月頃まで流行が見られたが、その後の震災により第14週まで調査不可能となった。年後半は、例年より2ヶ月早い9月頃から流行が始まり、最初は会津、郡山市、その後県北、県南、相双でも流行が見られた。

年齢構成では、1歳以下の報告が約7割(70.9%)を占めた。

少ない 多い

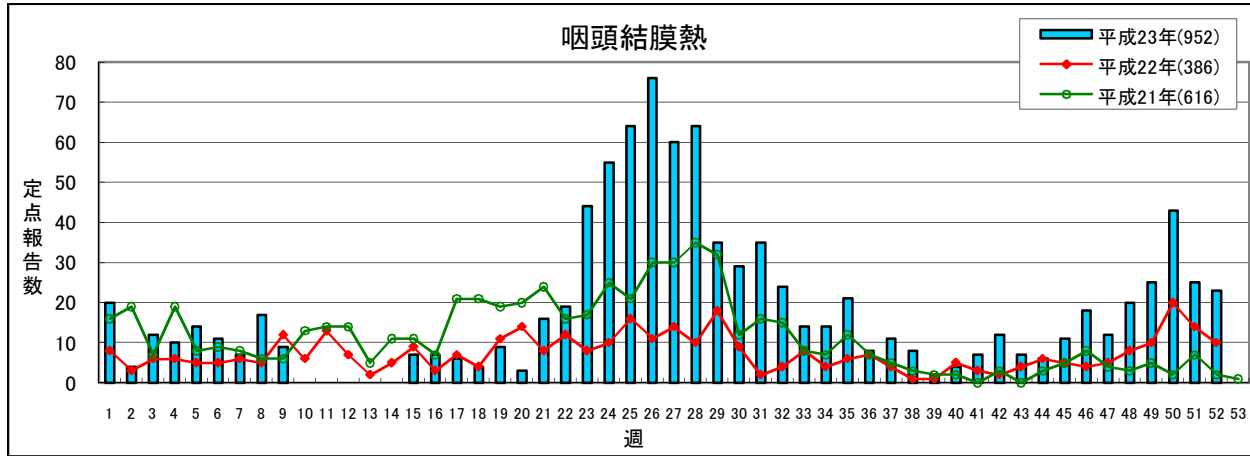
平成23年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	15	37	68	61	53	66	65	41	47	-	-	-	-	-	5	4	2	3	3	4	9	3	2	4	2	7	5
郡山市	24	23	13	11	16	13	7	9	12	-	-	-	-	-	6	0	4	6	4	5	4	2	3	4	4	6	4
県中	6	7	9	12	16	13	10	4	2	-	-	-	-	-	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	2
県南	5	3	5	7	8	13	9	9	10	-	-	-	-	-	0	2	1	3	0	1	2	2	1	0	0	0	1
会津	28	41	52	57	32	31	41	35	23	-	-	-	-	-	12	2	6	5	1	6	2	0	2	3	0	0	1
南会津	0	0	0	4	4	0	4	2	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	19	4	5	9	6	3	21	11	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	9	7	5	2	5	5	2	17	4	-	-	-	-	-	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
H23	106	122	157	163	140	144	159	128	103	-	-	-	-	-	24	8	13	18	9	16	18	7	9	12	7	13	13
H22	98	108	138	152	139	118	151	136	156	89	93	56	53	45	36	27	34	27	25	20	17	12	9	13	9	4	8
H21	65	41	23	17	29	20	21	16	25	16	20	12	12	22	16	21	13	17	23	14	22	19	13	11	9	7	7
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
県北	5	0	12	7	2	2	2	5	12	3	5	9	7	7	14	7	14	10	22	17	39	25	27	29	45	-	833
郡山市	1	2	1	0	2	0	2	14	8	2	8	7	19	15	5	10	14	15	15	15	22	23	32	19	19	-	450
県中	0	0	0	1	2	0	3	5	4	2	4	2	6	4	1	1	1	1	3	11	11	9	4	4	5	-	169
県南	1	2	1	0	1	0	0	1	0	1	2	5	6	10	3	3	8	4	8	13	12	12	4	5	6	-	190
会津	1	0	0	0	1	0	5	5	4	9	2	5	7	16	14	11	20	29	29	31	52	71	40	21	20	-	773
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	14
相双	0	0	0	0	0	0	1	2	3	9	4	1	2	5	2	2	4	3	7	3	0	2	2	2	2	-	140
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	5	0	0	3	4	1	2	4	6	7	8	11	-	111
H23	8	4	14	8	8	2	13	33	31	26	25	29	48	62	39	34	64	66	85	92	140	148	116	88	108	-	2,680
H22	10	3	6	5	5	4	4	11	9	10	4	19	20	17	7	12	21	22	28	30	47	94	127	105	116	-	2,509
H21	10	9	12	5	4	6	7	6	15	3	13	7	9	11	14	9	15	7	33	32	29	50	60	83	101	114	1,195

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	合計
H23	490	565	845	344	198	125	64	16	10	2	5	9	2	5	2,680
H22	420	451	816	348	215	115	74	24	17	7	8	10	3	1	2,509

(77)咽頭結膜熱



咽頭結膜熱（48小児科定点）

定点からの年間報告数は952例あり、前年と比較し約2.5倍となった。南会津、相双を除く県内全域で継続または断続した流行が見られた。例年より夏期の報告が多く見られた。

年齢構成では、1～5歳の報告が約7割(69.1%)を占めた。

少ない 多い

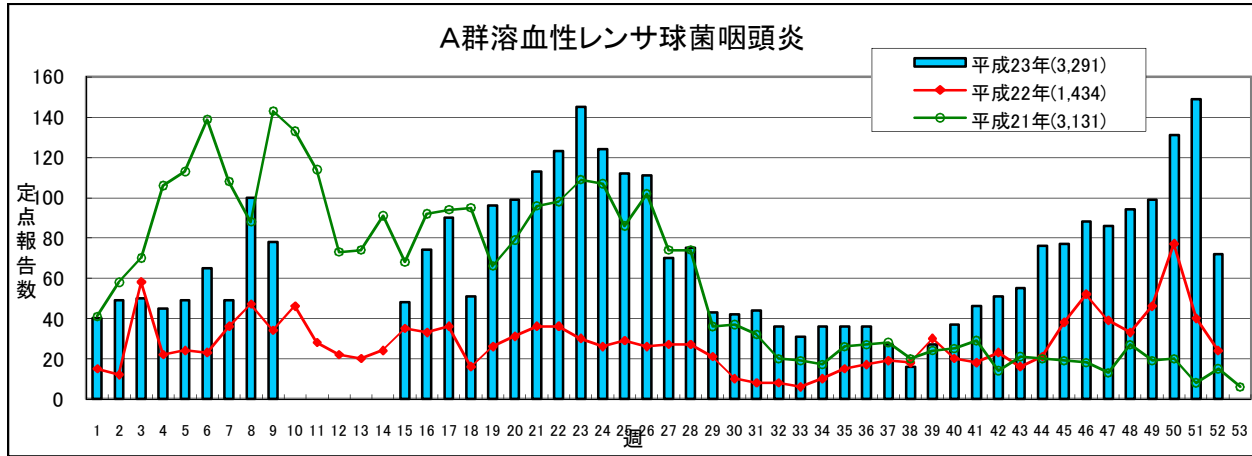
平成23年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	5	0	6	5	1	7	1	7	4	-	-	-	-	-	0	1	1	1	4	0	4	5	29	36	45	59	33
郡山市	3	2	1	0	3	2	3	3	4	-	-	-	-	-	2	0	3	1	2	2	2	5	4	9	10	11	9
県中	3	0	0	0	0	0	2	0	1	-	-	-	-	-	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	5
県南	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	1
会津	1	2	0	0	2	1	0	2	0	-	-	-	-	-	1	2	1	1	1	0	1	6	3	2	4	2	6
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	2	0	3	3	4	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	5	0	2	2	4	1	1	5	0	-	-	-	-	-	4	2	1	1	1	1	8	3	7	6	3	2	6
H23	20	4	12	10	14	11	7	17	9	-	-	-	-	-	7	7	6	4	9	3	16	19	44	55	64	76	60
H22	8	3	6	6	5	5	6	5	12	6	13	7	2	5	9	3	7	4	11	14	8	12	8	10	16	11	14
H21	16	19	7	19	8	9	8	6	6	13	14	14	5	11	11	7	21	21	19	20	24	16	17	25	21	30	30
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
県北	37	15	6	15	14	7	5	6	0	2	3	0	2	0	2	1	1	2	1	3	10	14	32	7	9	-	448
郡山市	11	10	11	6	5	1	5	1	1	2	2	1	0	3	2	2	0	0	3	7	3	2	3	3	5	-	170
県中	5	5	5	10	1	2	0	2	0	4	0	0	1	0	2	0	0	1	7	0	2	2	2	4	1	-	72
県南	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1	-	15
会津	6	2	5	2	0	0	0	10	7	3	1	0	0	1	2	3	5	6	5	0	4	6	4	8	5	-	123
南会津	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	-	7
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	12
いわき市	5	1	2	2	3	2	4	2	0	0	2	0	0	3	4	1	0	0	0	1	1	1	2	2	2	-	105
H23	64	35	29	35	24	14	14	21	8	11	8	2	4	7	12	7	6	11	18	12	20	25	43	25	23	-	952
H22	10	18	9	2	4	8	4	6	7	4	1	1	5	3	2	4	6	5	4	5	8	10	20	14	10	-	386
H21	35	32	12	16	15	8	7	12	7	5	3	2	2	0	3	0	3	5	8	4	3	5	2	7	2	1	616

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	合計
H23	3	47	154	109	132	138	125	82	46	33	30	43	3	7	952
H22	1	35	111	55	60	50	19	22	8	3	8	13	0	1	386

(78)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（48小児科定点）

定点からの年間報告数は3,291例あり、前年と比較し約2倍となった。南会津、相双を除く県内全域で継続または断続した流行が見られた。

年齢構成では、3～7歳の報告が6割以上(66.4%)を占めた。



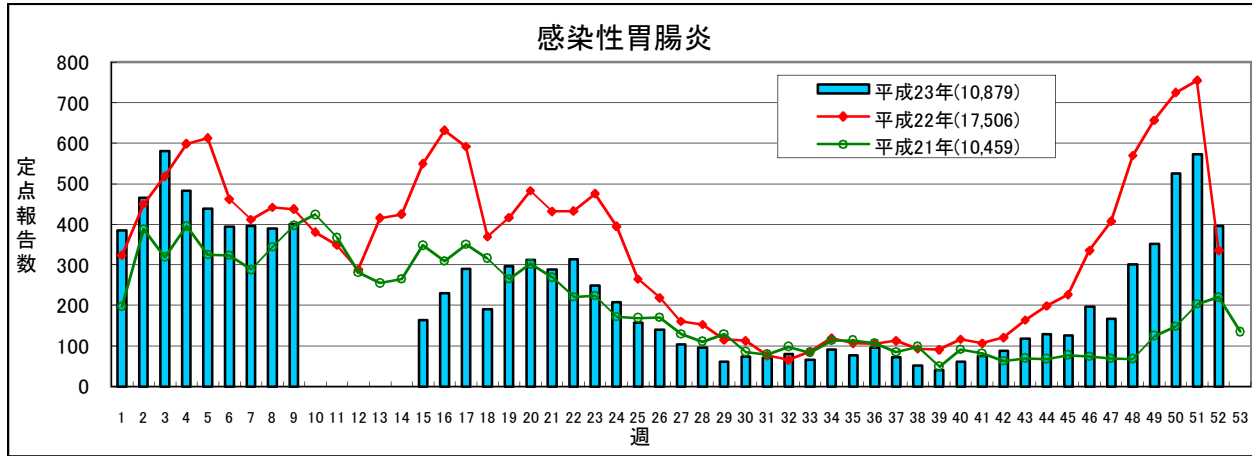
平成23年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	12	23	7	12	18	16	11	28	18	-	-	-	-	-	16	18	30	23	38	33	42	48	56	34	56	26	28
郡山市	2	3	3	5	3	6	3	17	14	-	-	-	-	-	6	7	10	6	16	17	17	17	34	26	20	32	12
県中	2	1	0	2	3	5	4	7	3	-	-	-	-	-	5	4	5	2	6	5	7	12	11	12	8	17	10
県南	3	2	10	3	2	9	3	4	10	-	-	-	-	-	3	6	9	5	8	9	11	9	8	12	6	14	3
会津	2	5	14	9	11	20	19	28	24	-	-	-	-	-	14	27	27	4	20	27	24	20	19	22	7	9	8
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	1	1	1	0	0	0	2	4	0	1	2	0
相双	4	1	1	1	0	0	0	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0	0	0	1	0	1	1	2	0
いわき市	15	14	15	13	12	9	9	13	7	-	-	-	-	-	4	11	8	7	8	8	12	14	13	17	13	9	9
H23	40	49	50	45	49	65	49	100	78	-	-	-	-	-	48	74	90	51	96	99	113	123	145	124	112	111	70
H22	15	12	58	22	24	23	36	47	34	46	28	22	20	24	35	33	36	16	26	31	36	36	30	26	29	26	27
H21	41	58	70	106	113	139	108	88	143	133	114	73	74	91	68	92	94	95	66	79	96	98	109	107	86	102	74
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
県北	36	14	13	19	16	18	20	12	10	14	10	16	10	15	19	21	20	30	19	25	31	26	28	33	17	-	1,085
郡山市	12	11	11	11	8	2	1	5	6	3	0	1	2	4	4	9	7	7	8	10	6	6	20	32	8	-	470
県中	9	5	1	7	3	2	7	8	8	5	5	4	4	6	13	10	14	14	22	11	8	14	14	12	11	-	348
県南	4	1	3	2	2	1	3	3	5	1	0	3	9	8	3	4	13	8	19	12	23	23	21	15	20	-	355
会津	6	4	3	1	5	2	0	1	2	4	0	1	10	8	8	3	8	7	8	6	7	6	11	18	5	-	494
南会津	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	2	0	-	23
相双	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	2	1	-	28
いわき市	8	5	11	3	2	6	5	6	5	0	1	2	2	5	3	8	13	10	12	21	19	21	35	35	10	-	488
H23	75	43	42	44	36	31	36	36	36	27	16	27	37	46	51	55	76	77	88	86	94	99	131	149	72	-	3,291
H22	27	21	10	8	8	6	10	15	17	19	18	30	20	18	23	16	21	38	52	39	33	46	77	40	24	-	1,434
H21	74	36	37	32	20	19	17	26	27	28	20	24	25	29	14	21	20	19	18	13	27	19	20	8	15	6	3,131

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	合計
H23	3	6	101	134	328	478	577	481	320	276	189	326	16	56	3,291
H22	3	7	54	97	124	214	236	198	151	101	77	134	13	25	1,434

(79) 感染性胃腸炎



感染性胃腸炎（48小児科定点）

定点からの年間報告数は10,879例あった。前年末からの流行に引き続き、年始から南会津を除く県内全域で流行し、第3週以降減少した。また、例年同様、12月頃から流行が始まった。

年齢構成では、1歳の報告が最も多かった。

少ない 多い

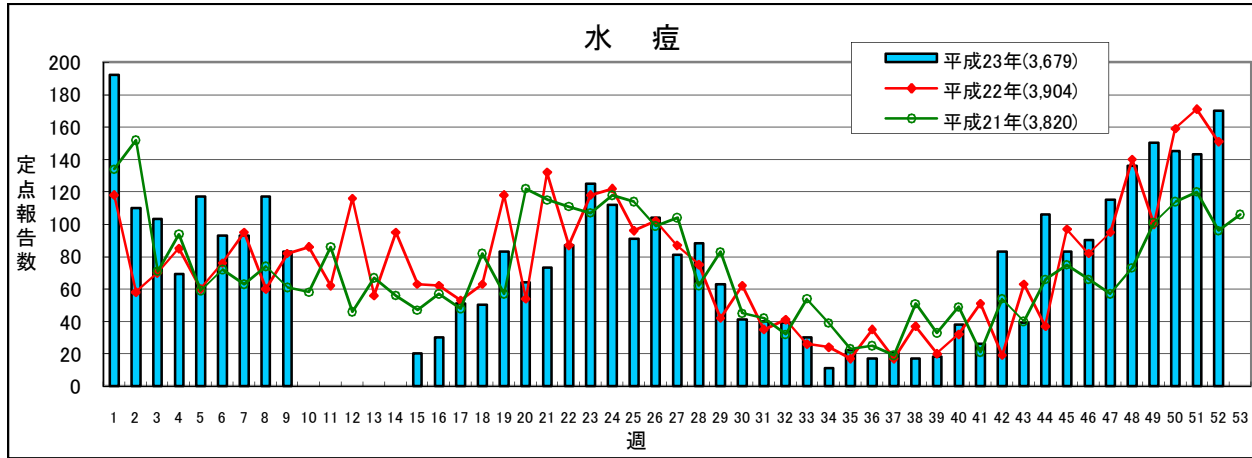
平成23年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	80	101	67	61	52	39	63	69	100	-	-	-	-	-	34	46	53	32	51	69	69	46	50	42	39	37	28
郡山市	34	43	72	57	49	41	62	48	38	-	-	-	-	-	30	40	78	45	49	57	73	51	30	34	21	18	12
県中	52	71	83	90	86	75	47	52	59	-	-	-	-	-	20	35	45	31	61	59	50	65	54	47	20	30	17
県南	40	48	53	40	53	31	32	29	29	-	-	-	-	-	22	49	36	18	32	35	30	59	37	27	11	20	9
会津	42	40	47	46	40	40	44	30	37	-	-	-	-	-	29	29	42	38	64	66	39	68	61	42	45	26	22
南会津	0	0	2	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	56	83	133	88	73	60	59	72	56	-	-	-	-	-	-	-	-	3	5	4	2	0	0	0	0	0	0
いわき市	81	80	124	101	85	109	89	89	82	-	-	-	-	-	29	32	37	24	35	23	26	25	18	17	22	9	16
H23	385	466	581	483	438	395	396	389	401	-	-	-	-	-	164	231	291	191	297	313	289	314	250	209	158	140	104
H22	324	450	519	599	613	462	412	442	438	381	349	289	416	425	550	632	592	370	417	483	432	433	476	395	265	219	161
H21	197	388	319	395	325	323	288	344	397	424	367	281	255	265	348	309	350	316	265	302	269	221	224	172	169	170	129
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
県北	24	20	16	20	16	14	16	9	21	18	10	12	17	13	13	21	20	11	23	17	25	37	49	72	78	-	1,820
郡山市	18	8	13	15	15	5	22	17	13	14	5	7	10	10	19	25	19	30	61	62	88	77	63	65	43	-	1,706
県中	19	11	14	12	21	20	30	18	31	18	17	12	24	15	20	26	41	30	19	31	56	79	62	68	58	-	1,901
県南	10	4	9	5	4	8	4	3	4	3	7	3	0	2	10	9	11	16	19	11	17	28	71	64	51	-	1,113
会津	15	10	15	11	16	18	13	22	19	14	10	3	1	30	15	25	28	27	49	28	25	36	67	80	38	-	1,552
南会津	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
相双	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	1	2	1	0	0	2	0	0	5	2	1	-	714
いわき市	11	9	5	8	8	0	6	8	8	5	3	4	7	6	10	10	9	13	27	17	91	95	208	222	127	-	2,070
H23	97	62	74	71	81	66	91	77	96	72	52	41	62	76	88	118	129	127	198	168	302	352	525	573	396	-	10,879
H22	153	116	113	77	66	86	119	107	106	113	93	91	117	107	121	164	199	227	336	408	570	657	725	755	336	-	17,506
H21	111	129	86	79	98	84	113	114	107	85	98	49	91	82	63	70	68	78	74	69	68	125	148	203	220	135	10,459

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	合計
H23	98	567	1458	1132	1010	1026	928	790	592	473	405	1146	226	1028	10,879
H22	177	908	2359	1785	1692	1640	1568	1230	920	745	673	1757	334	1718	17,506

(80)水痘



水痘（48小児科定点）

定点からの年間報告数は3,679例あり、5月から7月にかけては県北、郡山市、会津を中心に、11月から12月にかけては県北、郡山市、県南、会津、いわき市を中心に流行が見られた。流行の季節推移は例年どおりの形となった。年齢構成では、1～5歳の報告が多く、約8割(76.9%)を占めた。

少ない 多い

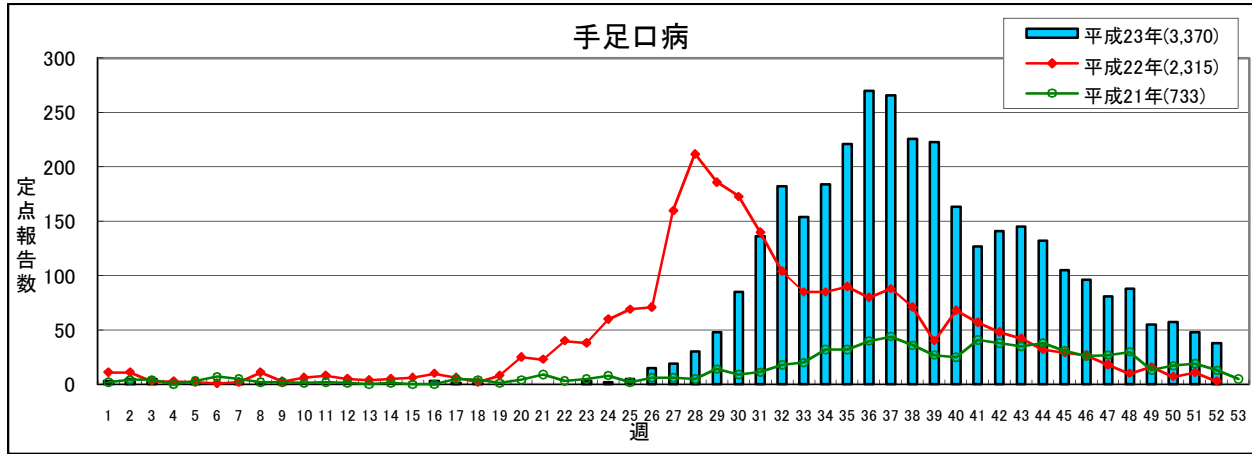
平成23年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	31	20	14	13	17	20	13	14	16	-	-	-	-	-	4	10	13	20	29	20	29	15	53	32	34	19	37
郡山市	41	20	21	9	27	12	20	15	19	-	-	-	-	-	3	4	8	10	15	12	16	20	23	23	24	24	22
県中	20	7	7	11	18	24	15	11	9	-	-	-	-	-	5	2	3	5	9	6	5	8	11	7	12	15	7
県南	19	11	17	4	7	3	9	16	9	-	-	-	-	-	1	2	3	5	2	6	3	6	7	6	2	11	1
会津	35	12	19	4	13	8	9	24	10	-	-	-	-	-	4	8	17	9	23	17	11	29	16	29	10	27	4
南会津	1	0	0	0	3	0	3	1	1	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0
相双	10	5	5	2	2	3	1	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	1	0	0	6	1	1	1
いわき市	35	35	20	26	30	23	23	31	17	-	-	-	-	-	3	4	7	1	5	3	8	9	15	8	8	4	9
H23	192	110	103	69	117	93	93	117	83	-	-	-	-	-	20	30	51	50	83	64	73	87	125	112	91	104	81
H22	118	58	70	85	60	76	95	60	82	86	62	116	56	95	63	62	53	63	118	54	132	87	118	122	96	102	87
H21	134	152	71	94	59	72	63	74	61	86	46	67	56	47	57	48	82	57	122	115	111	107	118	114	99	104	
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
県北	16	15	9	6	10	3	2	4	0	3	3	2	18	7	33	11	31	18	31	10	30	36	20	39	44	-	874
郡山市	33	20	16	10	11	5	2	4	0	3	1	4	8	6	19	9	30	19	12	27	25	29	26	28	27	-	762
県中	17	7	8	8	8	8	0	6	1	2	2	4	3	3	3	4	7	10	7	16	11	12	8	7	8	-	387
県南	3	9	2	8	6	3	2	0	3	5	6	2	5	2	10	2	19	16	12	35	14	30	16	30	19	-	409
会津	9	7	2	5	1	3	3	6	7	4	0	4	0	6	6	5	6	13	5	20	17	24	24	21	16	-	552
南会津	2	1	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	3	0	4	0	1	1	5	1	0	2	0	2	1	-	40
相双	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	2	1	1	0	0	1	2	1	1	-	60
いわき市	6	4	4	3	3	5	2	2	5	3	4	2	1	2	7	7	10	5	17	6	39	16	49	15	54	-	595
H23	88	63	41	40	39	30	11	22	17	21	17	18	38	26	83	39	106	83	90	115	136	150	145	143	170	-	3,679
H22	75	42	62	35	41	26	24	17	35	17	37	20	32	51	19	63	37	97	82	95	140	100	159	171	151	-	3,904
H21	62	83	45	42	32	54	39	23	25	19	51	33	49	21	54	40	66	75	66	57	73	101	114	120	96	106	3,820

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	合計
H23	73	184	615	630	609	567	407	246	146	69	55	67	4	7	3,679
H22	80	199	699	716	650	601	417	214	127	71	40	75	3	12	3,904

(81)手足口病



手足口病 (48小児科定点)

定点からの年間報告数は3,370例あり、前年と比較し約1.5倍となった。第36週をピークに、相双を除く県内全域で流行が見られた。

年齢構成では、1~4歳の報告が多く、約7割(71.6%)を占めた。

少ない 多い

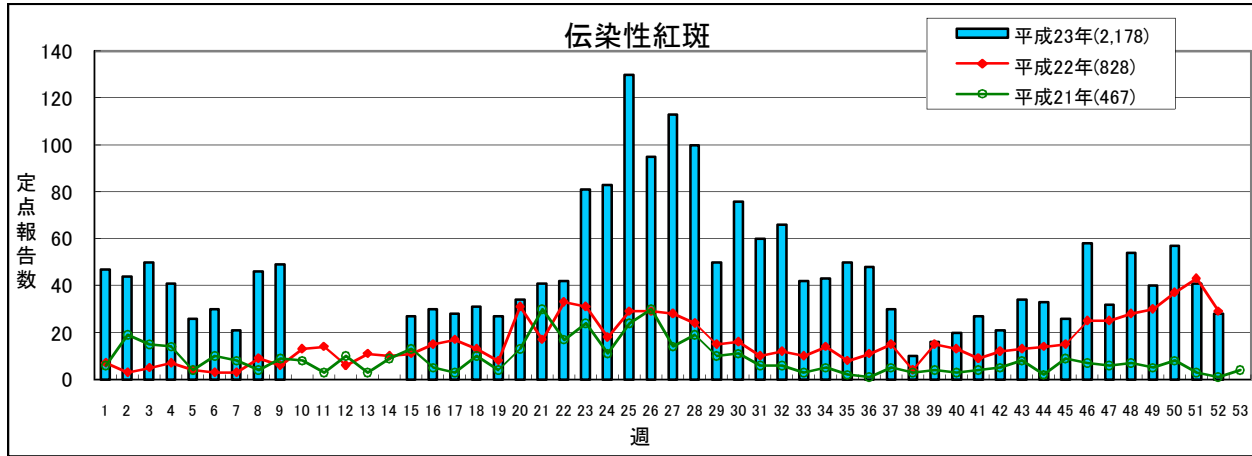
平成23年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	1	4	0	1	0	0	2	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1
郡山市	0	0	1	0	0	0	0	1	0	-	-	-	-	-	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	3	5
県中	1	0	2	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	8
会津	0	0	1	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	1	1	1	0	1	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	1	1	-	-	-	-	-	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	7	5
H23	3	5	5	1	1	0	2	2	1	-	-	-	-	-	0	3	1	1	0	0	0	0	3	2	5	15	19
H22	11	11	3	3	2	1	2	11	3	6	8	5	4	5	6	10	6	2	8	25	23	40	38	60	69	71	160
H21	2	4	4	0	3	7	5	2	2	1	2	1	0	1	0	0	5	4	1	4	9	3	5	8	2	6	6
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
県北	7	11	13	21	43	34	30	44	42	34	45	48	26	38	30	47	37	22	16	23	20	11	23	11	2	-	689
郡山市	5	5	10	35	38	33	31	33	54	58	30	32	41	25	27	25	21	14	12	10	7	8	2	1	3	-	573
県中	1	0	0	3	8	12	10	21	25	35	33	22	9	9	13	5	10	5	5	2	6	3	7	3	5	-	257
県南	6	9	29	28	33	10	22	31	28	30	26	8	11	3	3	7	3	5	4	0	1	1	4	5	2	-	325
会津	0	9	16	18	19	30	20	46	33	46	33	40	20	16	21	18	10	9	8	8	20	6	5	6	8	-	467
南会津	0	0	0	6	8	2	5	2	3	3	4	3	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	-	39
相双	0	0	0	1	1	4	5	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	19
いわき市	11	14	17	24	32	29	61	44	84	58	55	70	56	35	45	43	51	49	51	38	34	26	16	22	18	-	1,001
H23	30	48	85	136	182	154	184	221	270	266	226	223	163	127	141	145	132	105	96	81	88	55	57	48	38	-	3,370
H22	212	186	173	140	104	85	85	90	80	88	71	40	68	57	48	42	32	29	27	18	10	16	7	11	3	-	2,315
H21	5	14	9	11	18	20	32	32	40	44	36	27	25	41	38	35	38	31	26	27	30	13	17	19	13	5	733

年齢構成

	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~	合計
H23	33	249	945	613	517	338	266	152	75	55	44	53	5	25	3,370
H22	16	154	650	509	307	234	172	89	57	42	19	47	2	17	2,315

(82)伝染性紅斑



伝染性紅斑（48小児科定点）

定点からの年間報告数は2,178例あり、前年と比較し約2.6倍となった。前年からの流行に続き、5月から7月に県北、県南、会津、いわき市で流行、11月から12月に会津、いわき市で流行が見られた。

年齢構成では、4歳～8歳の報告が多く、約6割(64.7%)を占めた。

少ない 多い

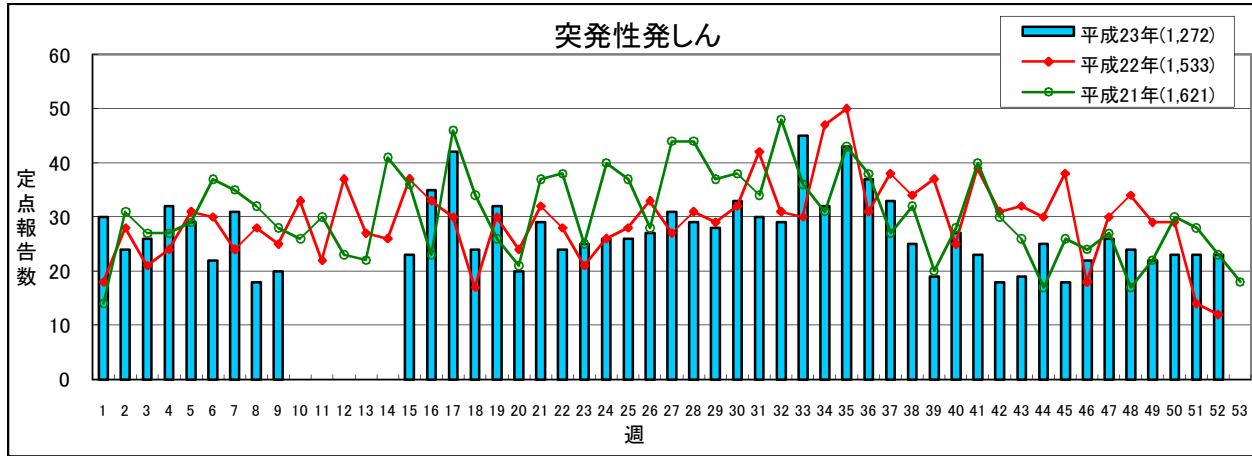
平成23年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	4	7	5	7	2	2	4	15	9	-	-	-	-	-	4	4	2	6	8	8	20	20	41	47	68	50	63
郡山市	23	13	22	18	9	12	7	9	11	-	-	-	-	-	4	3	5	1	3	4	4	3	5	6	3	2	3
県中	7	6	12	8	5	6	2	2	3	-	-	-	-	-	3	2	1	1	0	3	3	4	5	0	4	1	6
県南	2	2	1	0	0	1	2	5	4	-	-	-	-	-	0	2	2	3	3	5	2	1	5	1	16	8	8
会津	5	11	3	2	2	0	2	4	7	-	-	-	-	-	4	7	6	4	0	4	1	3	8	10	13	14	14
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	1	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	1	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	6	5	6	6	8	9	4	11	14	-	-	-	-	-	12	12	12	16	13	10	11	11	17	19	26	20	19
H23	47	44	50	41	26	30	21	46	49	-	-	-	-	-	27	30	28	31	27	34	41	42	81	83	130	95	113
H22	7	3	5	7	4	3	3	9	6	13	14	6	11	10	11	15	17	13	8	31	17	33	31	18	29	29	28
H21	6	19	15	14	4	10	8	4	9	8	3	10	3	9	13	5	3	10	4	13	30	17	24	11	24	30	14
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
県北	45	29	38	22	25	19	11	11	12	8	3	4	5	7	6	7	5	5	6	5	11	3	2	0	3	-	688
郡山市	8	1	1	8	4	5	1	3	0	1	0	2	2	2	1	4	3	4	2	3	0	5	7	12	0	-	249
県中	8	1	5	3	1	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	1	3	0	1	1	3	4	1	2	1	-	123
県南	11	2	9	3	8	0	1	1	4	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	115
会津	13	8	2	7	7	8	4	7	4	8	2	2	3	2	3	3	4	3	16	9	5	9	12	11	9	-	285
南会津	0	0	0	0	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	4	1	0	1	-	16
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	-	2
いわき市	15	9	21	17	19	9	22	26	28	10	5	8	10	16	11	18	17	14	32	14	34	15	34	16	13	-	700
H23	100	50	76	60	66	42	43	50	48	30	10	16	20	27	21	34	33	26	58	32	54	40	57	41	28	-	2,178
H22	24	15	16	10	12	10	14	8	11	15	4	15	13	9	12	13	14	15	25	25	28	30	37	43	29	-	828
H21	19	10	11	6	6	3	5	2	1	5	3	4	3	4	5	8	2	9	7	6	7	5	8	3	1	4	467

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	合計
H23	1	12	97	127	197	318	362	292	224	213	123	167	6	39	2,178
H22	1	9	35	59	73	114	162	124	74	61	40	62	0	14	828

(83) 突発性発しん



突発性発しん (48小児科定点)

定点からの年間報告数は1,272例あり、例年どおりの報告数となった。

年齢構成では、1歳までの報告がほとんど(95.5%)であった。



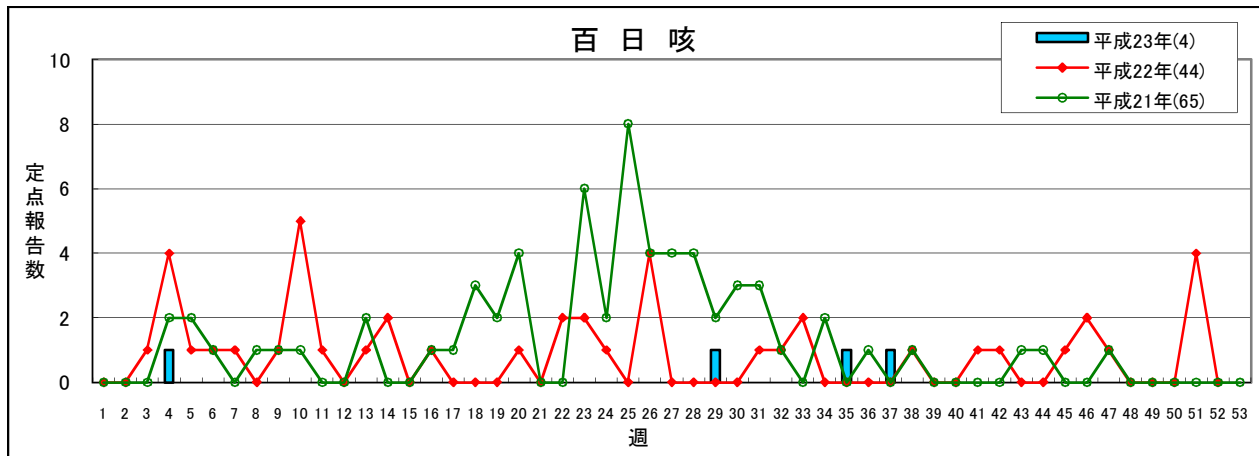
平成23年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	6	9	4	7	6	3	7	4	7	-	-	-	-	-	8	14	8	5	9	5	7	9	5	8	6	7	4
郡山市	3	4	4	4	7	4	7	5	3	-	-	-	-	-	4	8	7	5	3	6	5	5	7	4	4	4	4
県中	0	1	2	4	3	2	1	0	2	-	-	-	-	-	6	7	7	2	5	5	1	2	0	1	3	1	2
県南	2	2	2	4	2	2	2	1	0	-	-	-	-	-	0	1	6	1	3	0	6	0	2	2	2	4	8
会津	10	2	2	0	3	3	2	3	2	-	-	-	-	-	1	2	3	4	6	1	3	3	2	5	4	3	4
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	1	1	1	2	2	1	2	0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
いわき市	8	5	11	11	6	7	10	5	4	-	-	-	-	-	4	3	11	7	6	3	7	5	9	6	7	8	8
H23	30	24	26	32	29	22	31	18	20	-	-	-	-	-	23	35	42	24	32	20	29	24	25	26	26	27	31
H22	18	28	21	24	31	30	24	28	25	33	22	37	27	26	37	33	30	17	30	24	32	28	21	26	28	33	27
H21	14	31	27	27	29	37	35	32	28	26	30	23	22	41	36	23	46	34	26	21	37	38	25	40	37	28	44
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
県北	7	10	9	4	11	10	9	8	11	10	7	5	8	7	6	5	6	5	4	5	10	7	4	4	5	-	325
郡山市	3	3	5	2	4	4	8	8	9	10	5	5	7	9	5	4	6	7	5	10	5	4	5	7	4	-	251
県中	2	4	4	1	1	2	2	6	4	7	3	1	4	1	3	3	5	0	7	1	2	1	3	2	3	-	129
県南	7	3	3	4	1	3	0	3	3	2	2	1	2	0	2	1	0	0	1	3	2	5	1	2	1	-	104
会津	1	1	6	2	4	8	5	3	7	1	0	1	3	2	1	2	6	0	1	2	2	2	4	3	5	-	140
南会津	0	0	0	0	0	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	6
相双	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	14
いわき市	9	7	6	17	8	15	7	12	3	3	8	6	3	4	1	4	2	6	4	5	3	3	6	5	5	-	303
H23	29	28	33	30	29	45	32	43	37	33	25	19	27	23	18	19	25	18	22	26	24	22	23	23	23	-	1,272
H22	31	29	32	42	31	30	47	50	31	38	34	37	25	39	31	32	30	38	18	30	34	29	29	14	12	-	1,533
H21	44	37	38	34	48	36	31	43	38	27	32	20	28	40	30	26	17	26	24	27	17	22	30	28	23	18	1,621

年齢構成

	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~	合計
H23	39	609	567	45	4	3	3	1	1	0	0	0	0	0	1,272
H22	50	800	616	55	5	1	2	1	1	0	0	1	0	1	1,533

(84)百日咳



百日咳 (48小児科定点)

定点からの年間報告数は4例あった。

少ない  多い

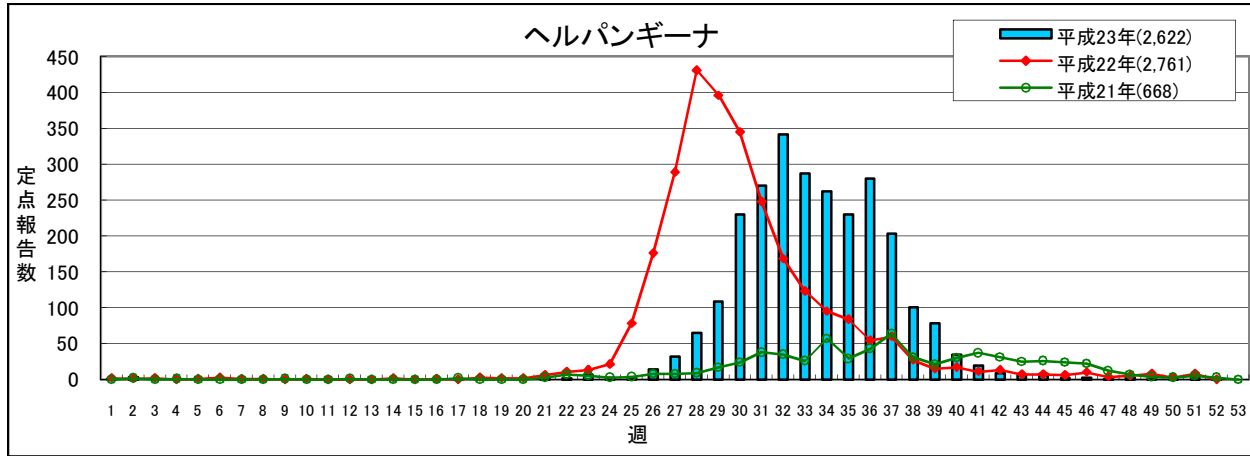
平成23年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	0	0	0	1	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H23	0	0	0	1	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H22	0	0	1	4	1	1	1	0	1	5	1	0	1	2	0	1	0	0	0	1	0	2	2	1	0	4	0
H21	0	0	0	2	2	1	0	1	1	1	0	0	2	0	0	1	1	3	2	4	0	0	6	2	8	4	4
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
県北	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	2
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
県中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1
会津	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
H23	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	4
H22	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	2	1	0	0	0	4	0	-	44
H21	4	2	3	3	1	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	65

年齢構成

	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~	合計
H23	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	4
H22	0	7	3	1	4	4	4	1	0	0	2	6	1	11	44

(85)ヘルパンギーナ



ヘルパンギーナ（48小児科定点）

定点からの年間報告数は2,622例あり、前年と同程度の報告数だった。7月頃から県南を中心に流行が始まり、相双を除く県内全域で10月頃まで流行が続いた。

年齢構成では、1歳～3歳の報告が多く、約6割(60.3%)を占めた。

少ない 多い

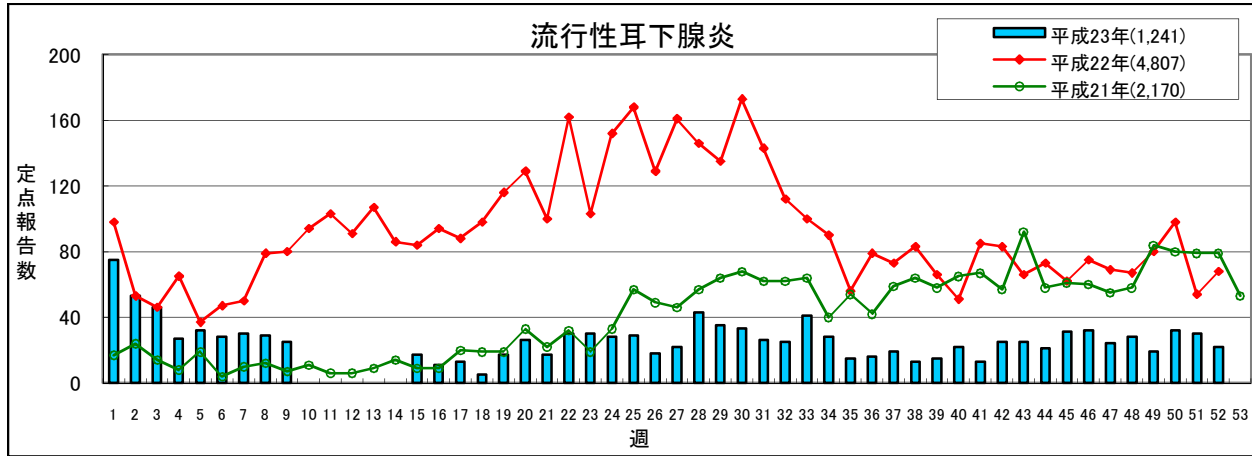
平成23年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	0	3	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	11
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	9
会津	0	0	0	0	0	1	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
いわき市	1	1	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	1	1	0	0	2	2	3	2	4	10	10
H23	1	4	0	0	0	1	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	1	1	0	0	2	2	7	3	4	14	32
H22	2	1	2	0	1	3	1	1	0	1	0	0	0	2	0	1	0	3	2	2	6	11	13	21	78	176	289
H21	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	3	7	5	3	4	8	8
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
県北	14	18	47	36	48	40	35	40	31	32	14	19	5	0	2	2	0	1	2	0	0	0	0	0	0	-	404
郡山市	10	13	30	34	52	48	46	37	25	24	11	11	5	5	5	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	-	365
県中	1	4	13	31	19	29	16	22	23	20	6	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	188
県南	20	37	58	39	35	27	21	9	14	15	8	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	297
会津	1	13	45	71	131	78	92	78	128	71	31	17	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	-	764
南会津	0	0	0	11	19	20	13	14	6	6	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	92
相双	0	0	0	0	2	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	11
いわき市	19	24	37	48	35	38	39	30	52	35	31	27	19	12	1	3	6	2	0	0	3	0	0	3	0	-	501
H23	65	109	230	270	341	287	262	230	280	203	101	78	35	20	9	6	8	3	3	1	3	1	1	3	1	-	2,622
H22	431	396	345	248	168	123	95	84	54	60	27	15	17	11	13	7	7	6	10	4	5	8	3	8	0	-	2,761
H21	9	17	24	38	35	26	57	29	43	64	31	21	30	37	31	25	26	24	22	12	7	4	3	5	3	0	668

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	合計
H23	22	206	663	514	405	288	186	125	81	40	32	52	2	6	2,622
H22	18	192	694	588	432	353	220	103	50	30	22	46	6	7	2,761

(86) 流行性耳下腺炎



流行性耳下腺炎（48小児科定点）

定点からの年間報告数は1,241例あり、前年と比較し約4分の1に減少した。前年に引き続き県北、郡山市、県南で震災前まで流行が見られた。調査の再開後は、いわき市で5月頃から年末まで流行が続いた。

年齢構成では、4歳をピークに3～7歳の報告が多く、約7割(66.3%)を占めた。



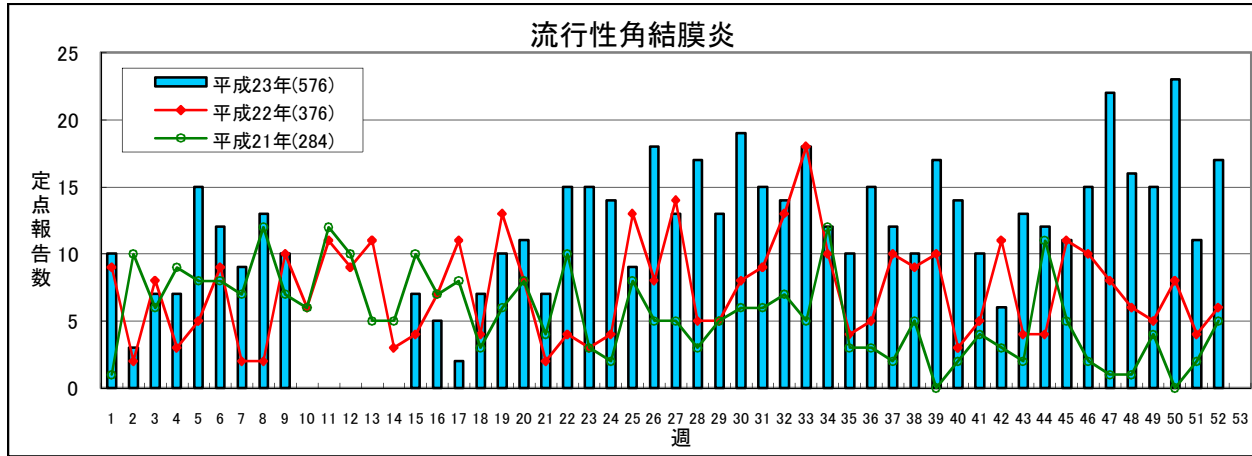
平成23年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	26	21	20	12	15	12	9	7	6	-	-	-	-	-	6	4	1	0	6	6	10	7	4	7	15	6	6
郡山市	13	10	7	7	9	7	13	9	8	-	-	-	-	-	5	2	2	0	1	0	0	4	7	3	4	2	4
県中	4	2	1	0	0	0	0	2	0	-	-	-	-	-	0	0	0	1	2	2	1	0	1	1	0	1	0
県南	17	10	6	1	5	5	1	6	8	-	-	-	-	-	2	1	1	0	3	2	0	2	2	0	0	2	0
会津	14	10	9	7	2	2	6	2	0	-	-	-	-	-	2	2	1	1	1	0	3	4	3	2	1	0	0
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	1	0	0	2	0	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
いわき市	1	0	2	0	1	0	1	2	0	-	-	-	-	-	2	2	8	3	4	16	3	13	13	14	8	7	12
H23	75	53	46	27	32	28	30	29	25	-	-	-	-	-	17	11	13	5	17	26	17	30	30	28	29	18	22
H22	98	53	46	65	37	47	50	79	80	94	103	91	107	86	84	94	88	98	116	129	100	162	103	152	168	129	161
H21	17	24	14	8	19	4	10	12	7	11	6	6	9	14	9	9	20	19	19	33	22	32	19	33	57	49	46
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
県北	16	10	8	5	7	9	3	3	5	1	5	1	2	2	0	8	4	3	15	6	2	10	11	14	3	-	359
郡山市	1	0	3	1	0	6	1	0	2	0	0	0	2	1	5	3	3	2	1	1	6	3	1	2	3	-	164
県中	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	-	23
県南	3	3	2	3	1	3	7	2	1	2	0	0	2	0	0	1	1	2	0	1	1	1	3	1	0	-	114
会津	2	1	0	0	0	1	1	2	0	2	0	1	1	3	1	1	0	2	6	1	2	0	1	1	1	-	102
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	-	4
相双	1	3	1	3	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	-	25
いわき市	20	18	19	14	15	18	15	7	8	14	8	12	14	6	19	12	13	21	10	14	16	5	14	12	14	-	450
H23	43	35	33	26	25	41	28	15	16	19	13	15	22	13	25	25	21	31	32	24	28	19	32	30	22	-	1,241
H22	146	135	173	143	112	100	90	56	79	73	83	66	51	85	83	66	73	62	75	69	67	80	98	54	68	-	4,807
H21	57	64	68	62	62	64	40	54	42	59	64	58	65	67	57	92	58	61	60	55	58	84	80	79	79	53	2,170

年齢構成

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～	合計
H23	0	3	52	72	138	209	166	179	131	92	68	112	8	11	1,241
H22	3	23	235	405	599	789	773	590	488	321	189	316	22	54	4,807

(89) 流行性角結膜炎



流行性角結膜炎（12眼科定点）

定点からの年間報告数は576例あり、年間をとおして継続した流行は見られなかった。

年齢構成では、20歳以上の報告が、約8割(77.6%)を占めた。



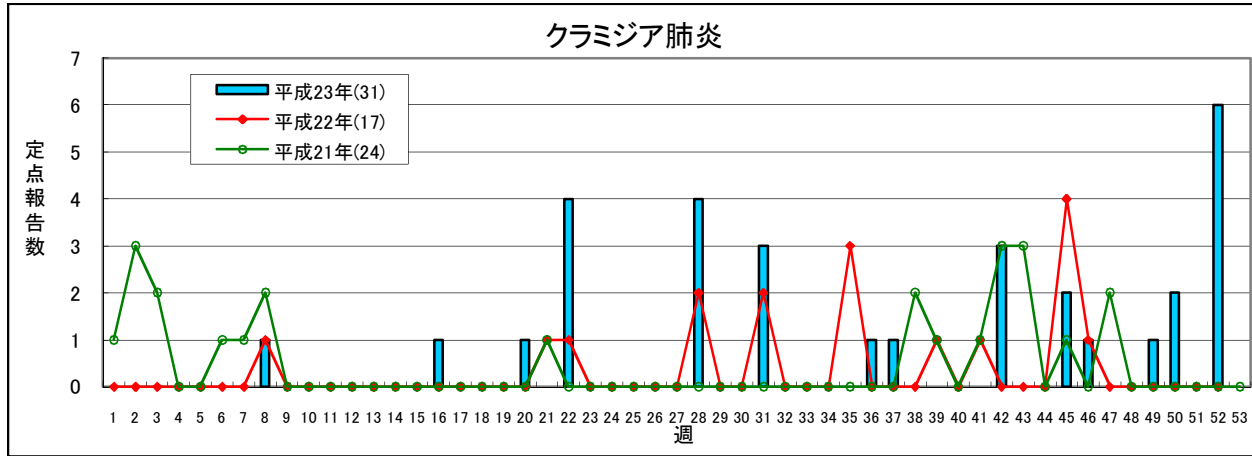
平成23年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	1	0	0	0	1	3	1	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	1	0	2	4	1	1	3	2
郡山市	4	0	3	0	5	2	1	6	5	-	-	-	-	-	3	1	1	4	3	1	1	9	8	4	4	6	5
県中	0	1	1	2	1	0	0	1	1	-	-	-	-	-	1	1	0	0	2	1	0	1	0	1	0	1	1
県南	0	0	0	3	1	2	0	0	2	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	4	1
会津	1	0	1	0	3	3	1	0	1	-	-	-	-	-	3	3	1	2	2	4	2	2	2	4	0	3	2
南会津	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
相双	3	2	0	2	1	1	2	1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1	0	0	0	1	3	2	0	0
いわき市	1	0	2	0	3	1	4	5	1	-	-	-	-	-	0	0	0	1	2	4	2	1	0	0	1	1	2
H23	10	3	7	7	15	12	9	13	10	-	-	-	-	-	7	5	2	7	10	11	7	15	15	14	9	18	13
H22	9	2	8	3	5	9	2	2	10	6	11	9	11	3	4	7	11	4	13	8	2	4	3	4	13	8	14
H21	1	10	6	9	8	8	7	12	7	6	12	10	5	5	10	7	8	3	6	8	4	10	3	2	8	5	5
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
県北	3	2	5	5	2	2	2	1	3	3	1	0	0	2	1	1	2	2	0	0	2	0	4	0	2	-	65
郡山市	8	6	6	1	6	6	3	5	0	1	4	5	2	3	0	2	3	3	6	3	2	3	3	1	7	-	165
県中	0	0	3	5	1	2	1	0	2	0	1	3	3	1	0	1	2	2	1	1	3	2	1	0	3	-	54
県南	3	2	0	2	0	1	2	2	0	3	0	1	1	0	1	2	1	3	2	3	4	2	5	4	2	-	63
会津	3	2	4	0	5	4	2	2	8	5	2	7	7	3	3	6	3	1	2	12	2	5	7	3	3	-	141
南会津	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
相双	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	2	2	1	2	0	-	32
いわき市	0	1	1	1	0	3	1	0	1	0	2	1	1	1	0	0	1	0	4	2	1	1	2	1	0	-	56
H23	17	13	19	15	14	18	12	10	15	12	10	17	14	10	6	13	12	11	15	22	16	15	23	11	17	-	576
H22	5	5	8	9	13	18	10	4	5	10	9	10	3	5	11	4	4	11	10	8	6	5	8	4	6	-	376
H21	3	5	6	6	7	5	12	3	3	2	5	0	2	4	3	2	11	5	2	1	1	4	0	2	5	0	284

年齢構成

	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~	合計
H23	2	4	14	14	12	10	8	16	6	5	5	15	18	93	139	88	60	39	28	576
H22	1	1	4	3	4	6	6	3	8	4	4	10	19	76	73	51	39	33	31	376

(94)クラミジア肺炎(オウム病を除く)



クラミジア肺炎 (7基幹定点)

定点からの年間報告数は郡山市からの8例、いわき市からの23例であった。
年齢構成では、5～9歳以上が約4割(38.7%)を占めた。



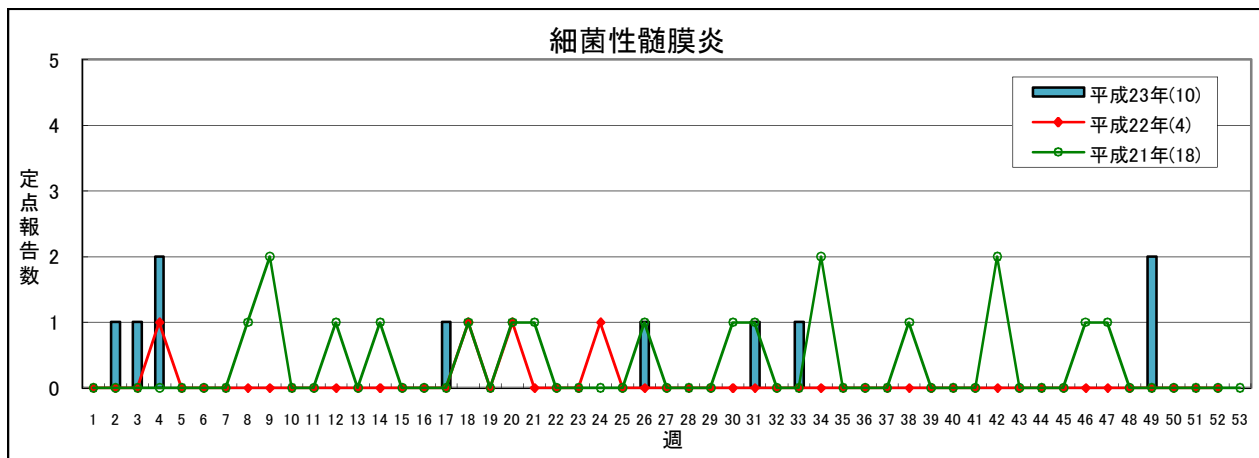
平成23年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0
H23	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-	-	-	-	-	0	1	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0
H22	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
H21	1	3	2	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	2	0	1	-	-	8
県中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
いわき市	4	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	5	23
H23	4	0	0	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	0	0	2	1	0	0	1	2	0	6	-	31
H22	2	0	0	2	0	0	0	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	-	17
H21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	3	3	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	24

年齢構成

	～0歳	～4歳	～9歳	～14歳	～19歳	～24歳	～29歳	～34歳	～39歳	～44歳	～49歳	～54歳	～59歳	～64歳	～69歳	70歳～	合計
H23	0	3	12	5	2	0	1	4	1	0	0	0	0	0	0	3	31
H22	0	1	5	2	0	0	0	2	2	1	0	0	1	1	0	2	17

(95)細菌性髄膜炎



細菌性髄膜炎（7基幹定点）

定点からの年間報告数は10例あった。
原因病原体は、0歳2名がB群連鎖球菌、1～4歳3名がインフルエンザ菌、45～49歳2名が黄色ブドウ球菌、55～59歳1名が肺炎球菌、65～69歳1名が表皮ブドウ球菌、70歳以上1名が不明であった。

少ない 多い

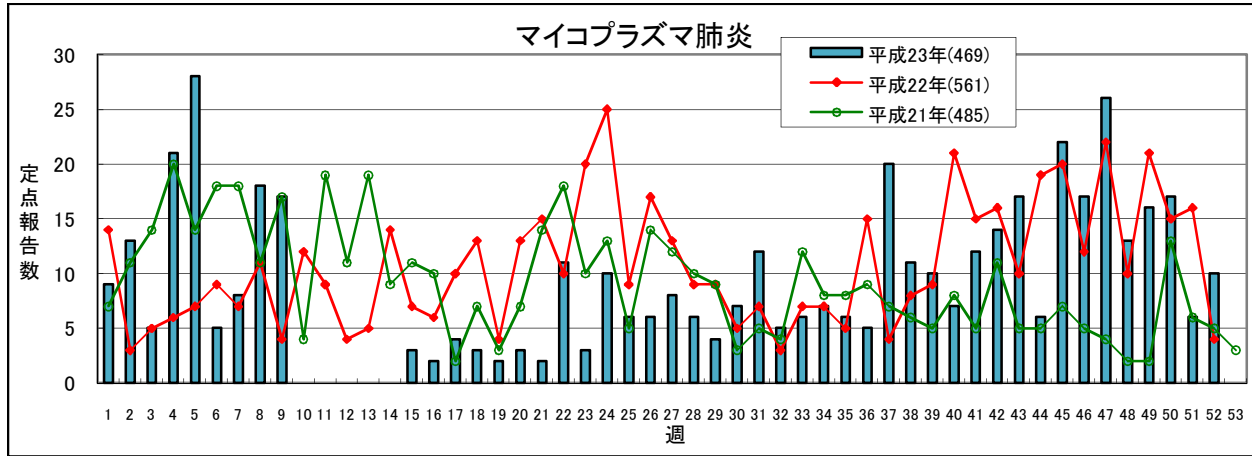
平成23年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津	0	0	1	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	0	1	0	2	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
H23	0	1	1	2	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
H22	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0
H21	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
県北	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1
郡山市	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	2
県中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	-	6
H23	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	-	10
H22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	4
H21	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	18

年齢構成

	～0歳	～4歳	～9歳	～14歳	～19歳	～24歳	～29歳	～34歳	～39歳	～44歳	～49歳	～54歳	～59歳	～64歳	～69歳	70歳～	合計
H23	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	1	10
H22	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4

(97)マイコプラズマ肺炎



マイコプラズマ肺炎（7基幹定点）

定点からの年間報告数は469例あった。県北、いわき市からの報告が多く、いわき市の報告数は全体の約5割（50.3%）を占めた。

年齢構成では、14歳以下の報告が約9割（91.7%）を占めた。



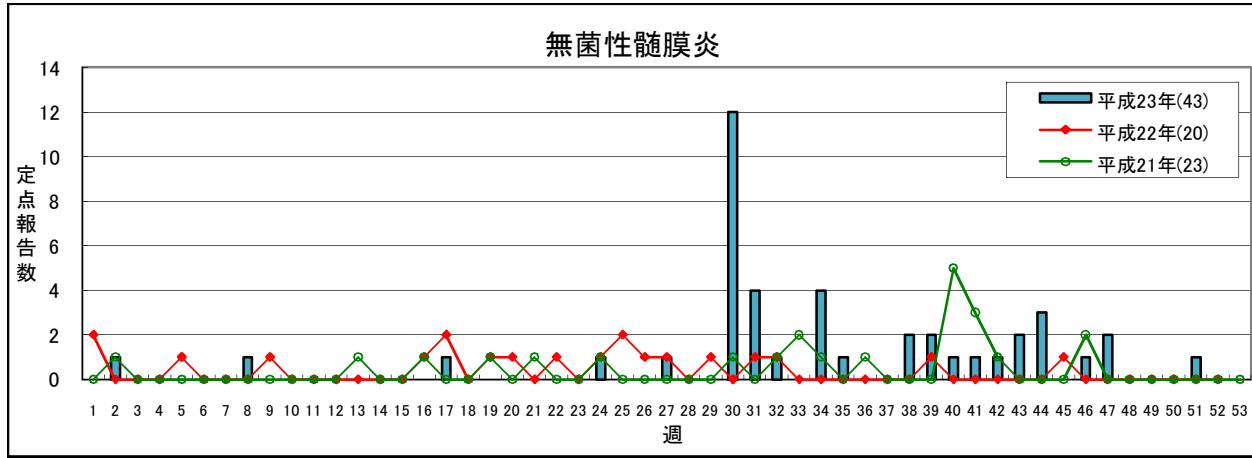
平成23年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	2	2	2	2	2	2	2	2	2	-	-	-	-	-	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3
郡山市	2	1	1	1	1	0	0	1	0	-	-	-	-	-	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1
県中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津	0	0	1	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
相双	3	3	1	8	6	3	5	4	5	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	2	7	0	10	19	0	1	11	10	-	-	-	-	-	1	0	2	1	0	1	0	9	0	7	3	2	4
H23	9	13	5	21	28	5	8	18	17	-	-	-	-	-	3	2	4	3	2	3	2	11	3	10	6	6	8
H22	14	3	5	6	7	9	7	11	4	12	9	4	5	14	7	6	10	13	4	13	15	10	20	25	9	17	13
H21	7	11	14	20	14	18	18	11	17	4	19	11	19	9	11	10	2	7	3	7	14	18	10	13	5	14	12
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
県北	1	3	3	2	3	2	2	2	2	3	3	2	2	3	3	3	4	4	6	8	4	5	5	4	5	-	128
郡山市	1	0	4	0	0	1	0	0	2	1	0	2	1	1	3	4	1	3	7	4	2	2	1	0	2	-	55
県中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	-	8
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	-	42
いわき市	4	1	0	10	2	3	5	4	0	16	8	5	4	8	8	9	1	15	2	14	4	9	11	2	1	-	236
H23	6	4	7	12	5	6	7	6	5	20	11	10	7	12	14	17	6	22	17	26	13	16	17	6	10	-	469
H22	9	9	5	7	3	7	7	5	15	4	8	9	21	15	16	10	19	20	12	22	10	21	15	16	4	-	561
H21	10	9	3	5	4	12	8	8	9	7	6	5	8	5	11	5	5	7	5	4	2	2	13	6	5	3	485

年齢構成

	～0歳	～4歳	～9歳	～14歳	～19歳	～24歳	～29歳	～34歳	～39歳	～44歳	～49歳	～54歳	～59歳	～64歳	～69歳	70歳～	合計
H23	4	222	146	58	2	3	4	5	2	4	2	2	0	2	1	12	469
H22	13	335	135	36	5	4	4	2	3	1	1	2	2	0	0	18	561

(98)無菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎（7基幹定点）

定点からの年間報告数は郡山市からの43例であった。
夏期にエコーウイルス9型による集団発生があった。



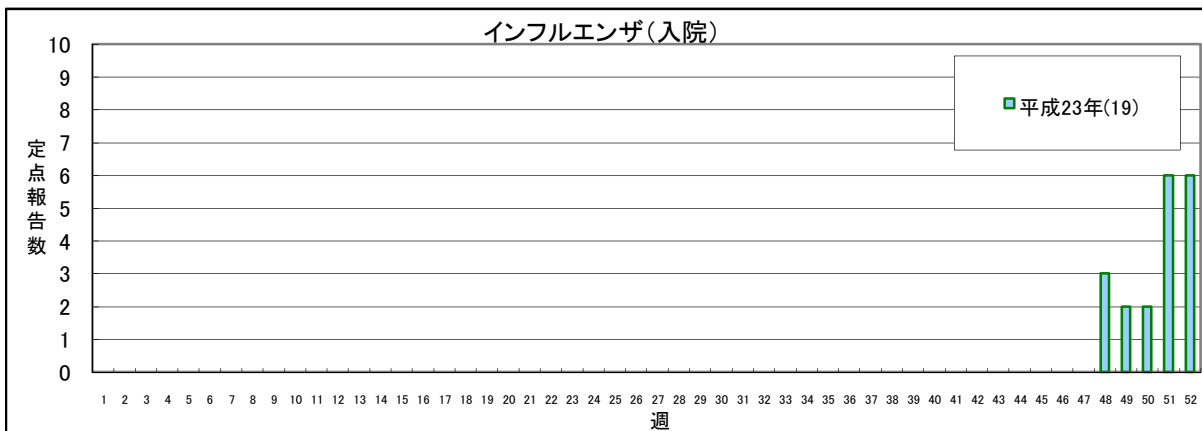
平成23年 報告数

週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
郡山市	0	1	0	0	0	0	0	1	0	-	-	-	-	-	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
県中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H23	0	1	0	0	0	0	0	1	0	-	-	-	-	-	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
H22	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	0	1	2	1	1
H21	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
郡山市	0	0	12	4	1	0	4	1	0	0	2	2	1	1	1	2	3	0	1	2	0	0	0	1	0	-	43
県中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
相双	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
いわき市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
H23	0	0	12	4	1	0	4	1	0	0	2	2	1	1	1	2	3	0	1	2	0	0	0	1	0	-	43
H22	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	-	20
H21	0	0	1	0	1	2	1	0	1	0	0	0	5	3	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	23

年齢構成

	～0歳	～4歳	～9歳	～14歳	～19歳	～24歳	～29歳	～34歳	～39歳	～44歳	～49歳	～54歳	～59歳	～64歳	～69歳	70歳～	合計
H23	0	6	23	5	0	1	1	0	5	1	0	0	0	0	0	1	43
H22	4	0	3	3	1	2	2	1	1	1	0	1	0	0	0	1	20

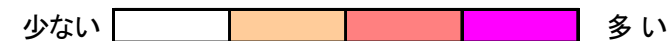
(87) インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)(入院)



(報告は入院患者に限定)

インフルエンザ (7基幹定点)

平成23年9月5日から調査が開始された。基幹定点からの報告で、報告は入院患者に限られる。
 定点からの報告は19例あった。



平成23年 報告数

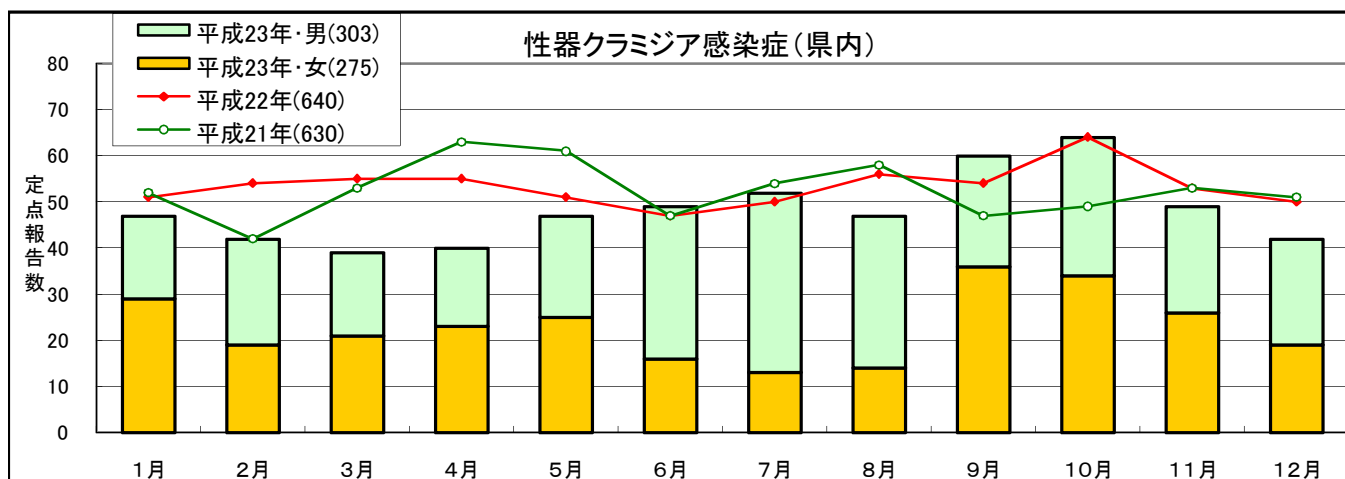
週	1w	2w	3w	4w	5w	6w	7w	8w	9w	10w	11w	12w	13w	14w	15w	16w	17w	18w	19w	20w	21w	22w	23w	24w	25w	26w	27w
県北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
郡山市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
県中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
県南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
会津	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南会津	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
相双	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
いわき市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
週	28w	29w	30w	31w	32w	33w	34w	35w	36w	37w	38w	39w	40w	41w	42w	43w	44w	45w	46w	47w	48w	49w	50w	51w	52w	53w	合計
県北	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
郡山市	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	4	-	8
県中	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
県南	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
会津	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	-	4
南会津	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
相双	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	1	-	6
いわき市	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-	1
H23	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	2	6	6	-	19

平成23年9月5日から調査開始

(90) 性器クラミジア感染症

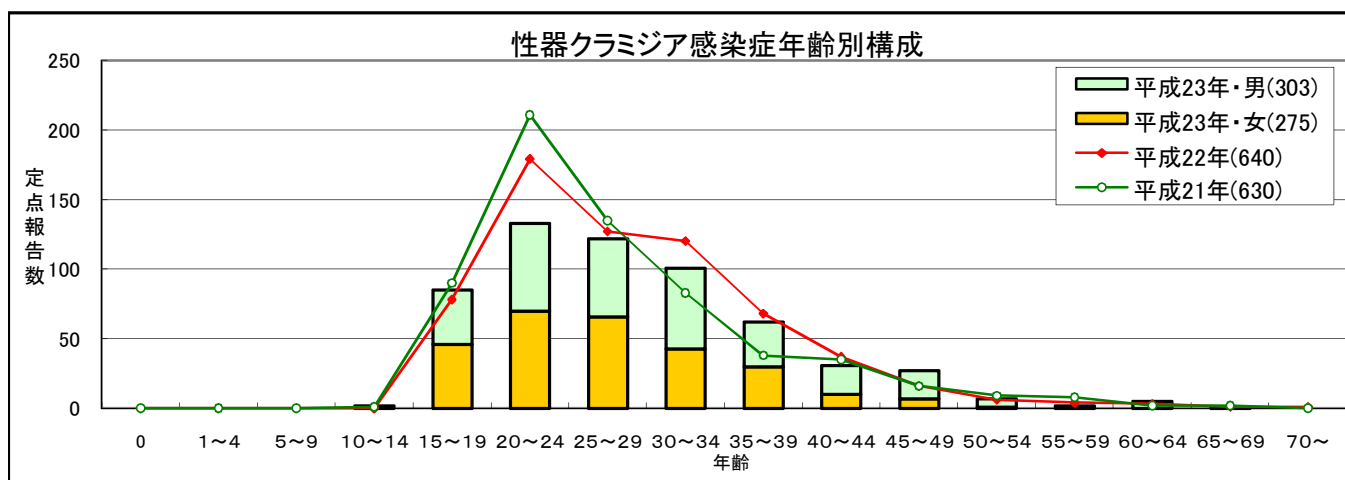
(16STD定点)

定点からの年間報告数は578例(男303例、女275例)あり、20～29歳の報告が多かった。
また、年齢構成の全国との比較では、全国とほぼ同様の報告であった。

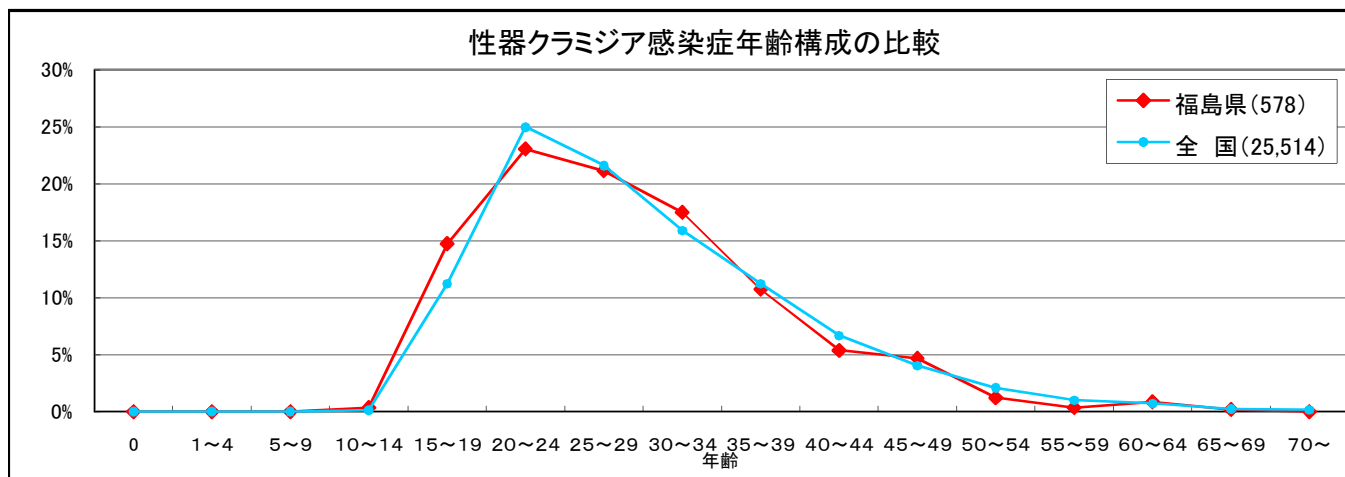


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成23年・男(303)	18	23	18	17	22	33	39	33	24	30	23	23	303
平成23年・女(275)	29	19	21	23	25	16	13	14	36	34	26	19	275
平成23年(578)	47	42	39	40	47	49	52	47	60	64	49	42	578
平成22年(640)	51	54	55	55	51	47	50	56	54	64	53	50	640
平成21年(630)	52	42	53	63	61	47	54	58	47	49	53	51	630

平成21～23年 県内の年齢別構成

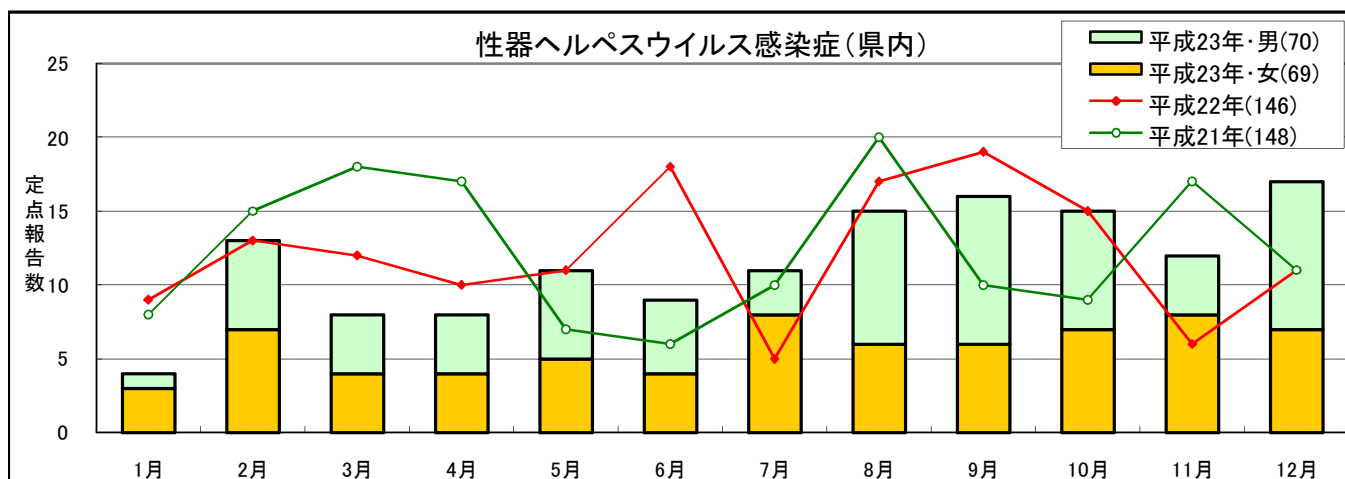


平成23年 年齢構成の比較



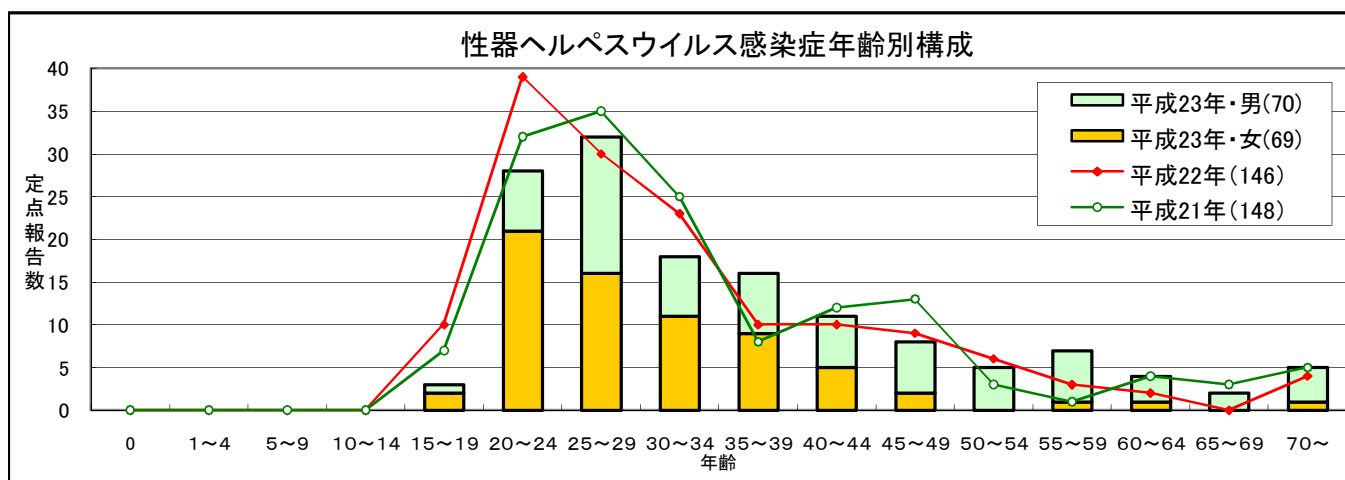
(91) 性器ヘルペスウイルス感染症 (16STD定点)

定点からの年間報告数は139例(男70例、女69例)あり、20～29歳の報告が多かった。
また、年齢構成の全国との比較では、20～29歳の患者の占める割合が高かった。

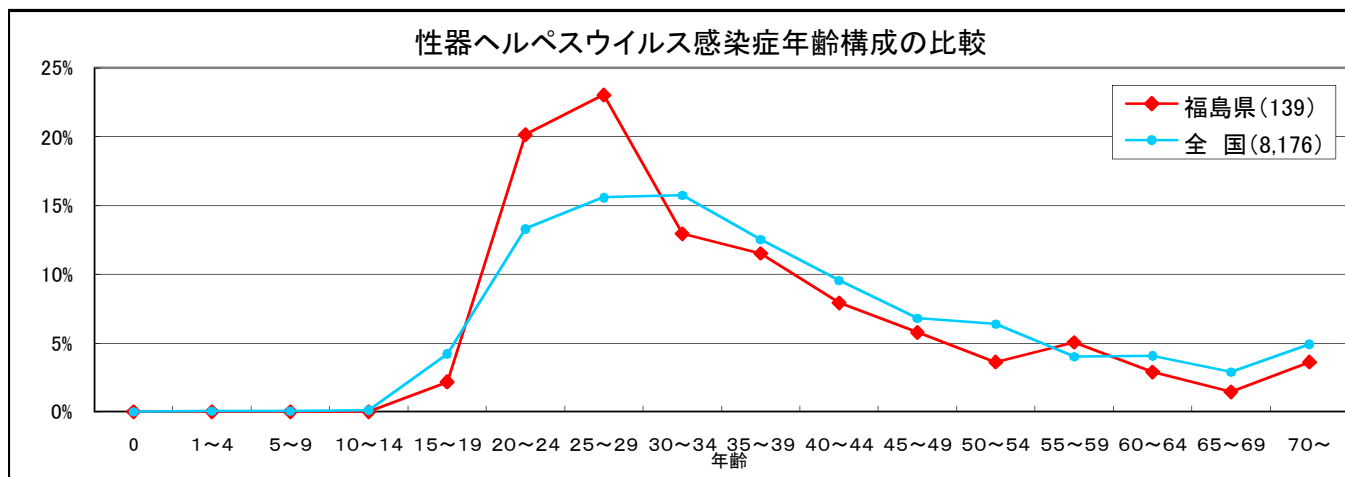


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成23年・男(70)	1	6	4	4	6	5	3	9	10	8	4	10	70
平成23年・女(69)	3	7	4	4	5	4	8	6	6	7	8	7	69
平成23年(139)	4	13	8	8	11	9	11	15	16	15	12	17	139
平成22年(146)	9	13	12	10	11	18	5	17	19	15	6	11	146
平成21年(148)	8	15	18	17	7	6	10	20	10	9	17	11	148

平成21～23年 県内の年齢別構成



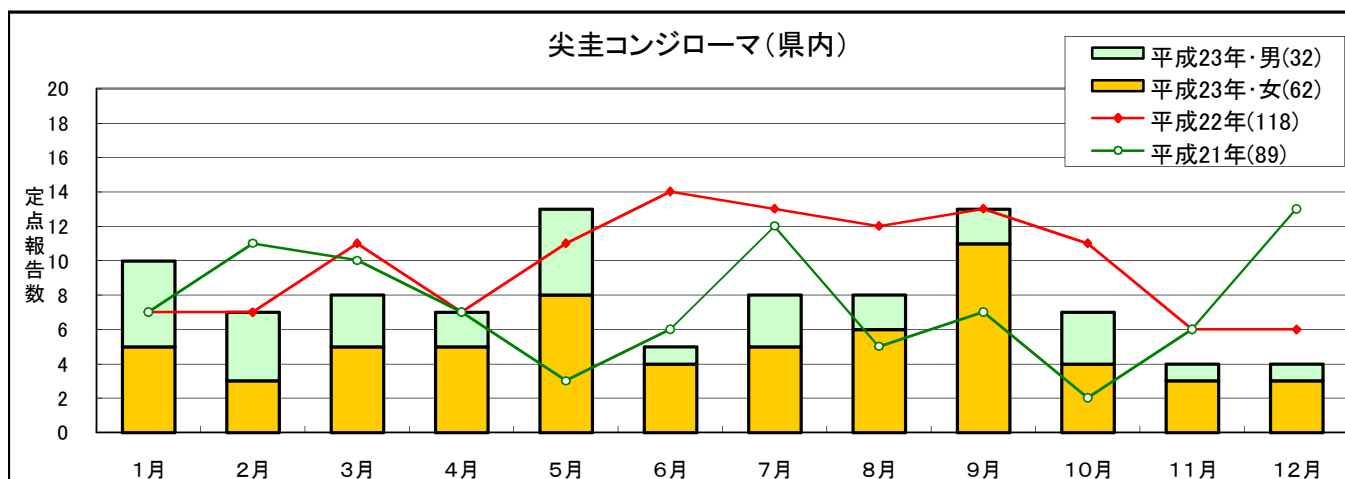
平成23年 年齢構成の比較



(92) 尖圭コンジローマ

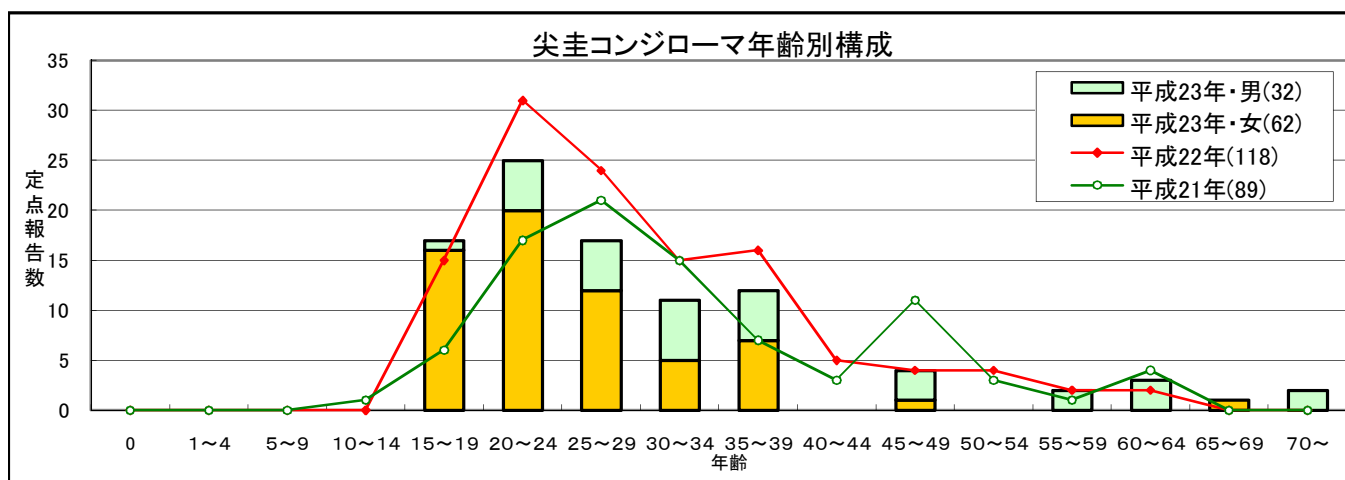
(16STD定点)

定点からの年間報告数は94例(男32例、女62例)あり、20～24歳の報告が多かった。
また、年齢構成の全国との比較では、15～24歳の患者の占める割合が高かった。

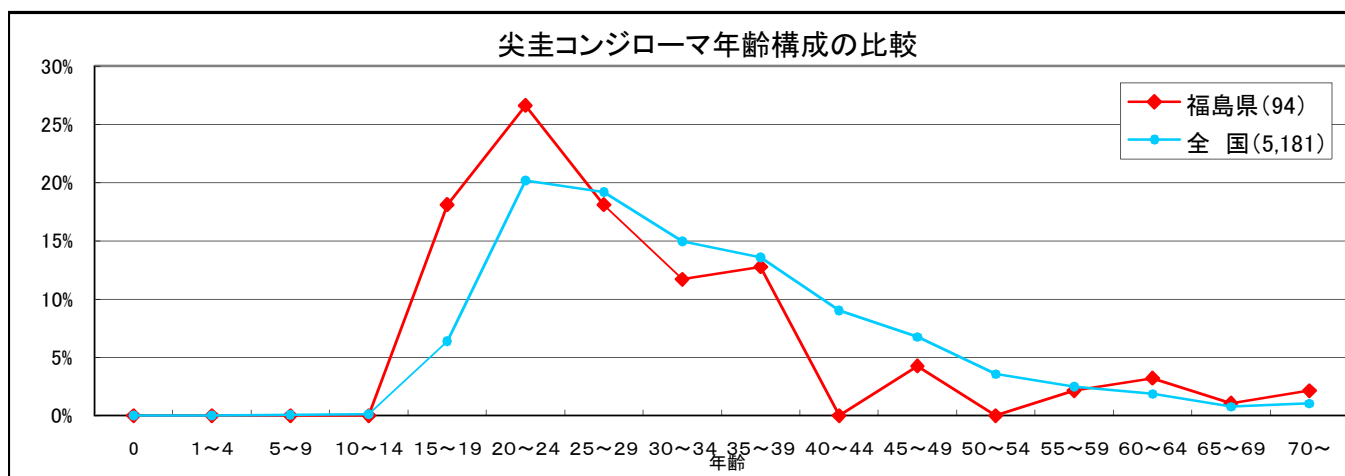


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成23年・男(32)	5	4	3	2	5	1	3	2	2	3	1	1	32
平成23年・女(62)	5	3	5	5	8	4	5	6	11	4	3	3	62
平成23年(94)	10	7	8	7	13	5	8	8	13	7	4	4	94
平成22年(118)	7	7	11	7	11	14	13	12	13	11	6	6	118
平成21年(89)	7	11	10	7	3	6	12	5	7	2	6	13	89

平成21～23年 県内の年齢別構成



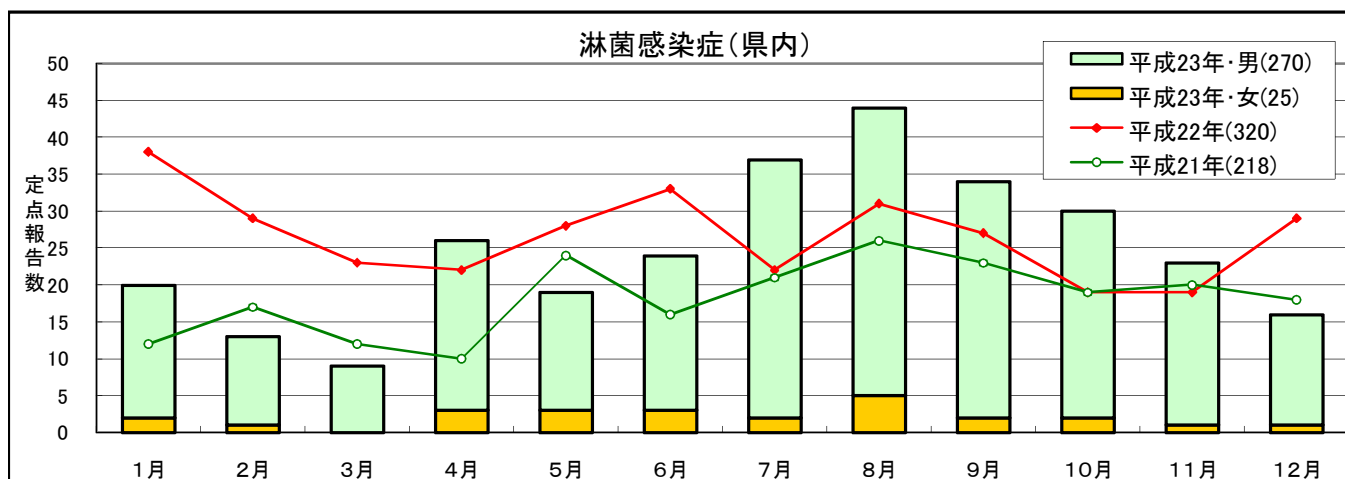
平成23年 年齢構成の比較



(93) 淋菌感染症

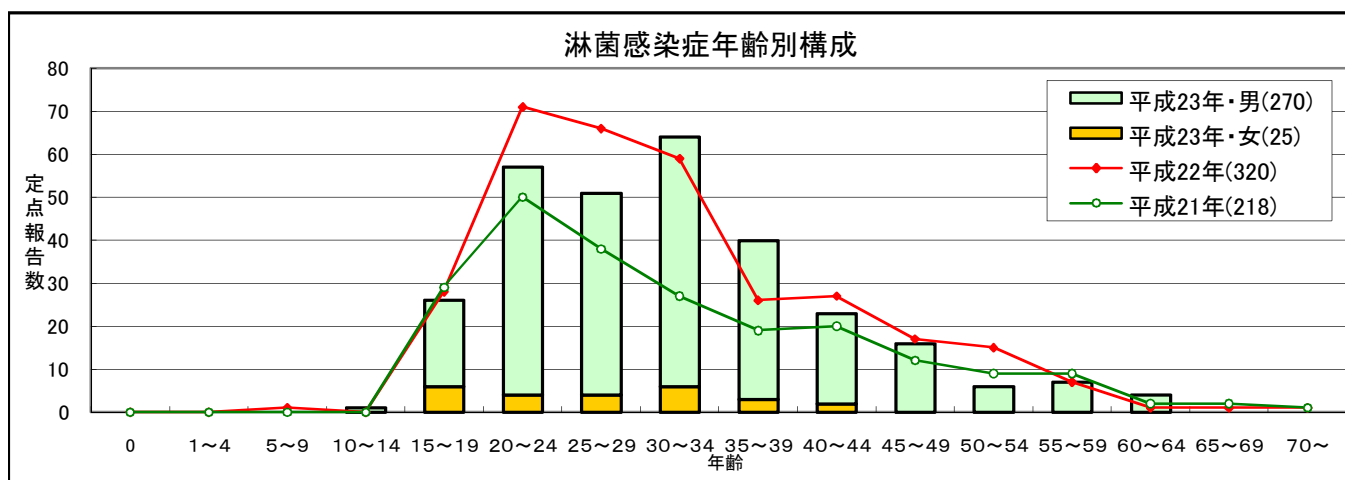
(16STD定点)

定点からの年間報告数は295例(男270例、女25例)あり、20～34歳の報告が多かった。
また、年齢構成の全国との比較では、30～34歳の患者の占める割合が高かった。

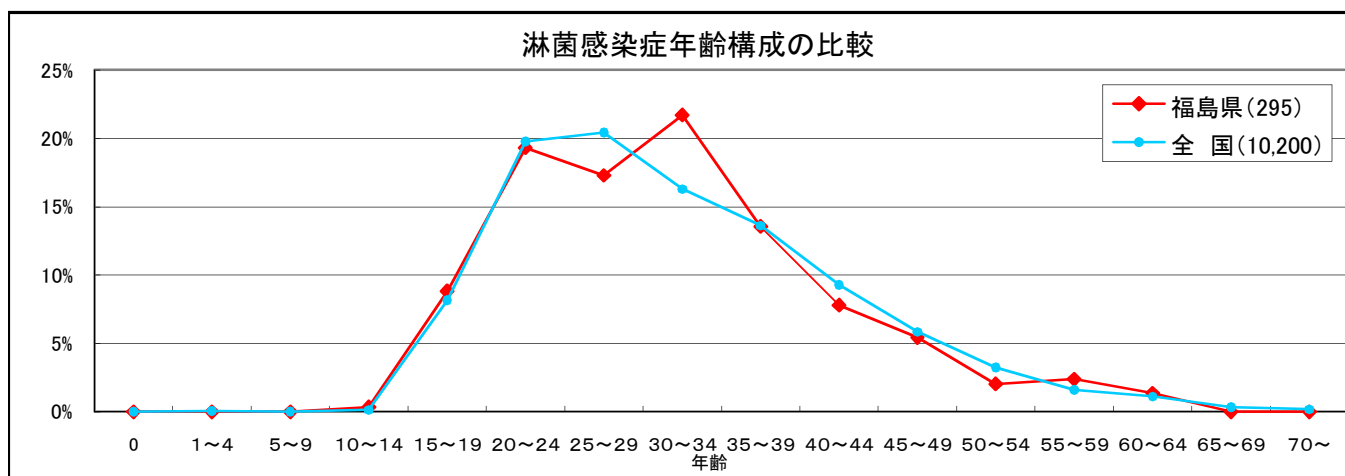


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成23年・男(270)	18	12	9	23	16	21	35	39	32	28	22	15	270
平成23年・女(25)	2	1	0	3	3	3	2	5	2	2	1	1	25
平成23年(295)	20	13	9	26	19	24	37	44	34	30	23	16	295
平成22年(320)	38	29	23	22	28	33	22	31	27	19	19	29	320
平成21年(218)	12	17	12	10	24	16	21	26	23	19	20	18	218

平成21～23年 県内の年齢別構成



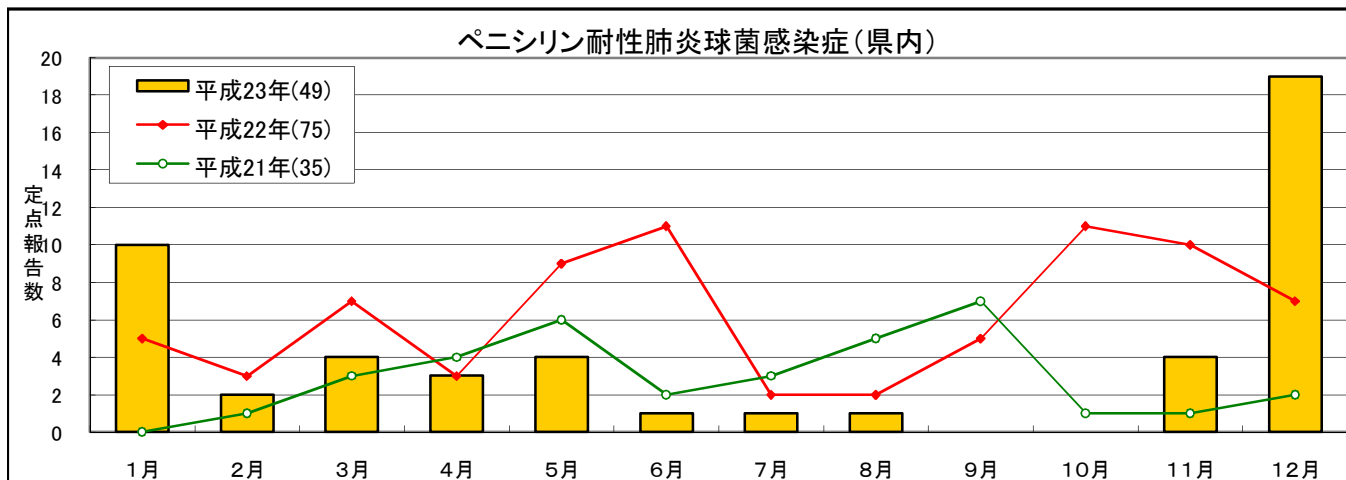
平成23年 年齢構成の比較



(96) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

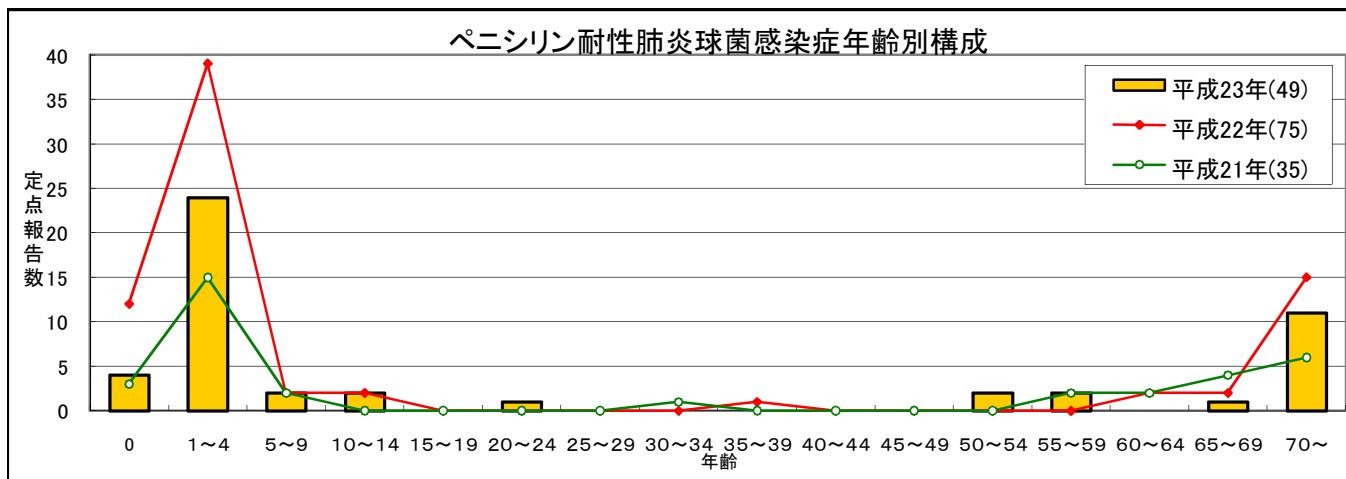
(7基幹定点)

定点からの年間報告数は49例あり、1~4歳の報告が多かった。

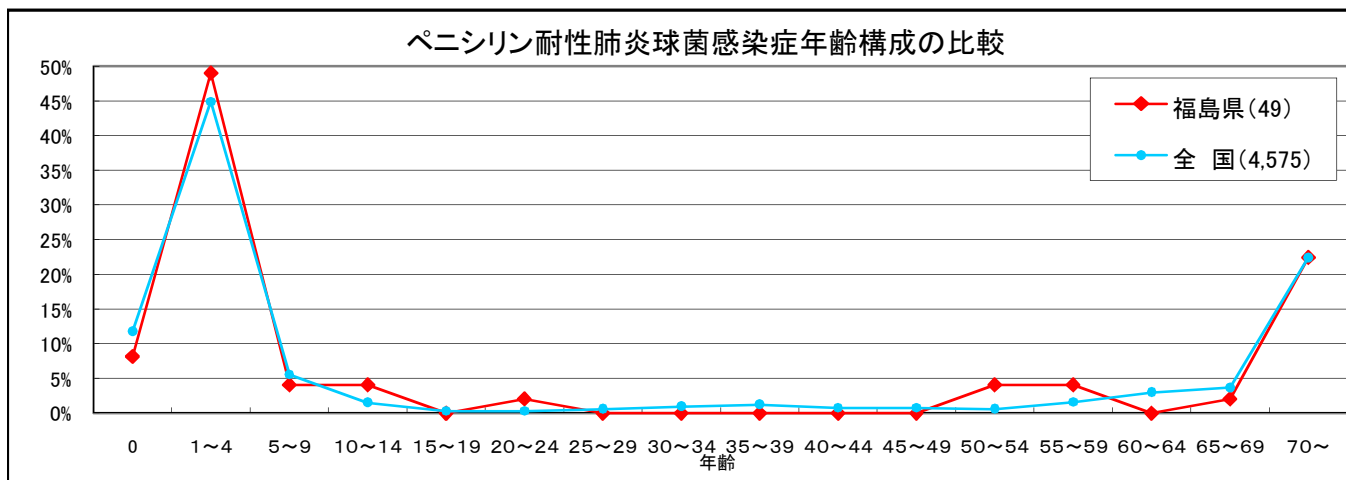


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成23年(49)	10	2	4	3	4	1	1	1	0	0	4	19	49
平成22年(75)	5	3	7	3	9	11	2	2	5	11	10	7	75
平成21年(35)	0	1	3	4	6	2	3	5	7	1	1	2	35

平成21~23年 県内の年齢別構成

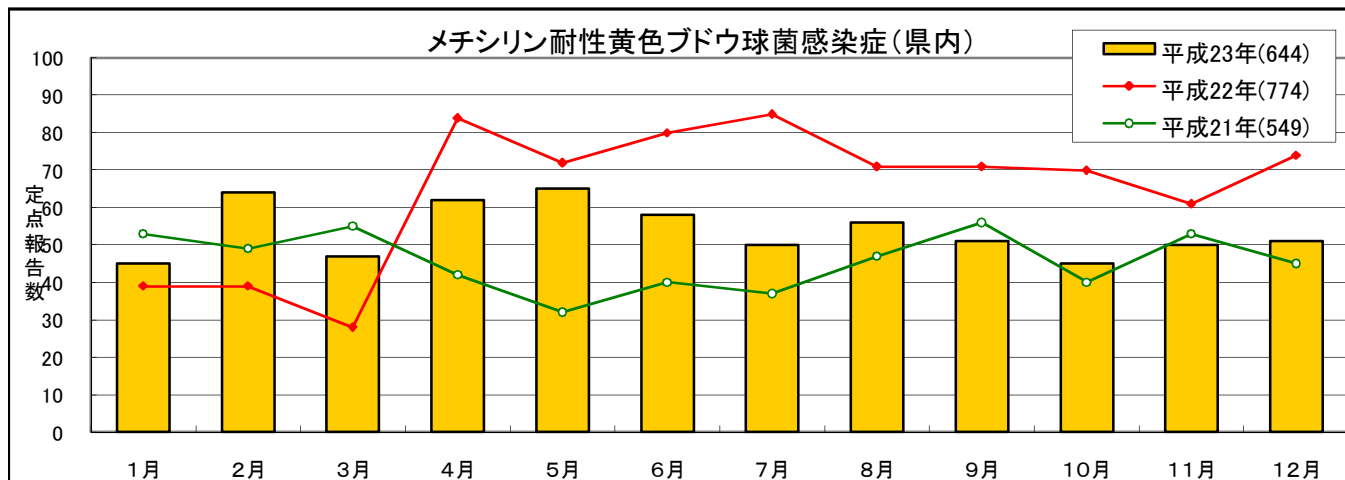


平成23年 年齢構成の比較



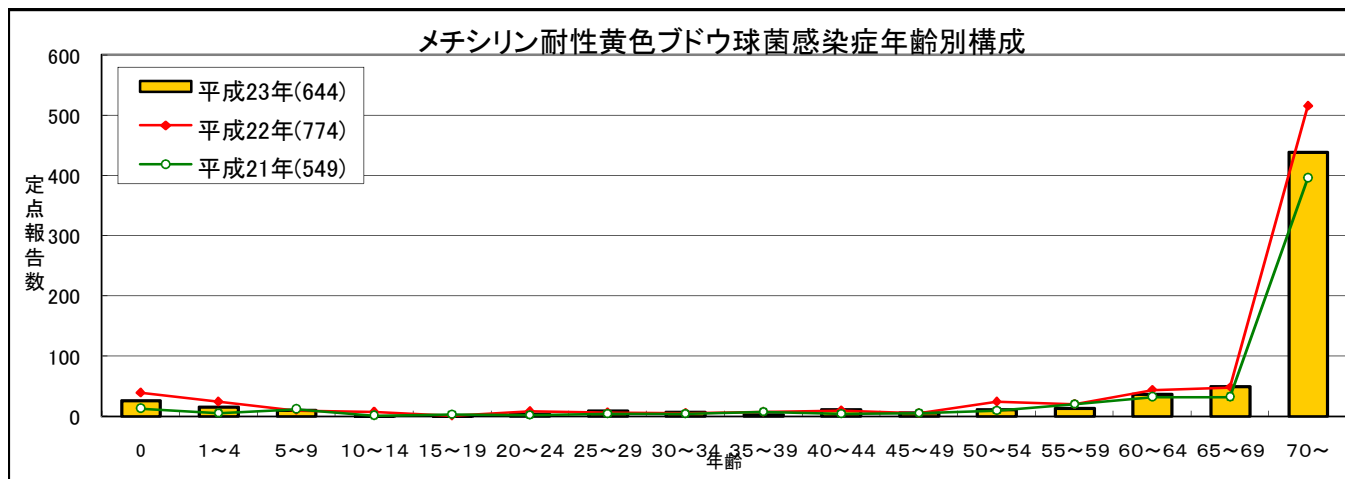
(99)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (7基幹定点)

定点からの年間報告数は644例あり、70歳以上の報告が多かった。

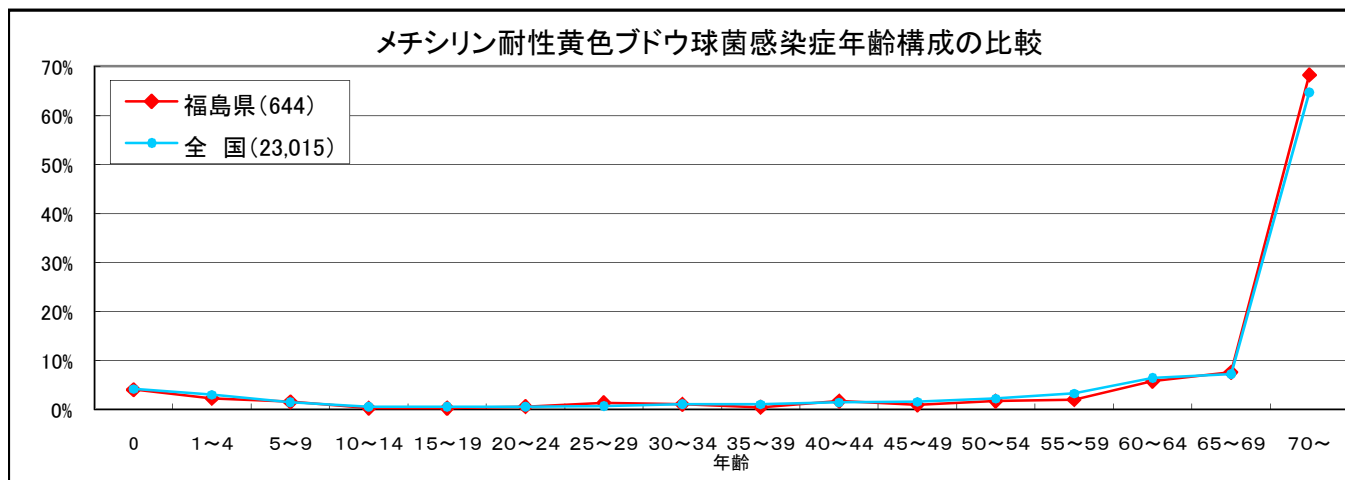


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成23年(644)	45	64	47	62	65	58	50	56	51	45	50	51	644
平成22年(774)	39	39	28	84	72	80	85	71	71	70	61	74	774
平成21年(549)	53	49	55	42	32	40	37	47	56	40	53	45	549

平成21～23年 県内の年齢別構成



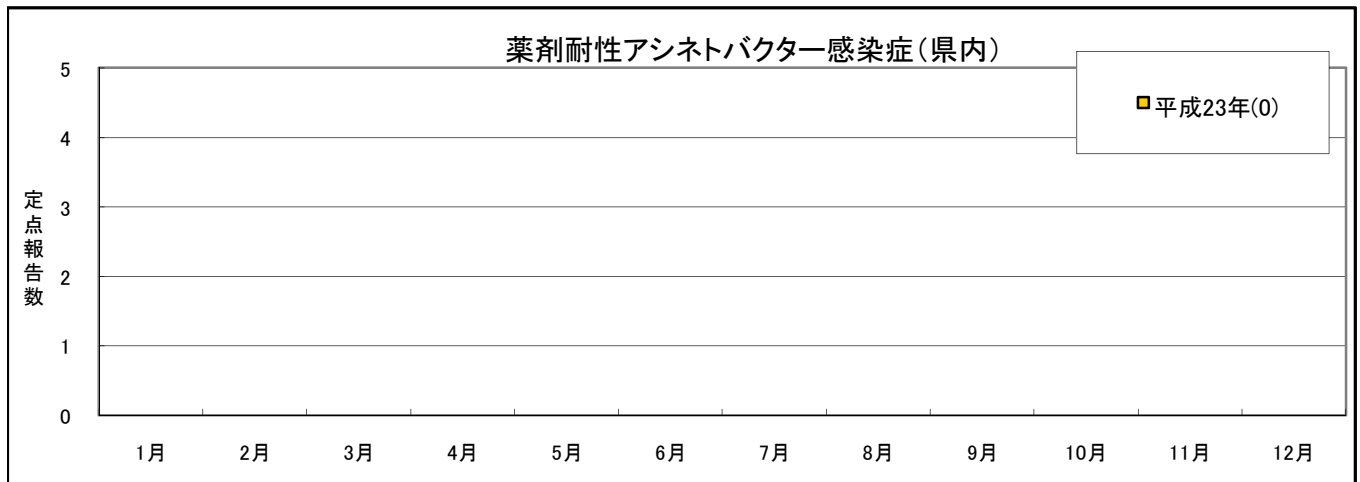
平成23年 年齢構成の比較



(100) 薬剤耐性アシネトバクター感染症

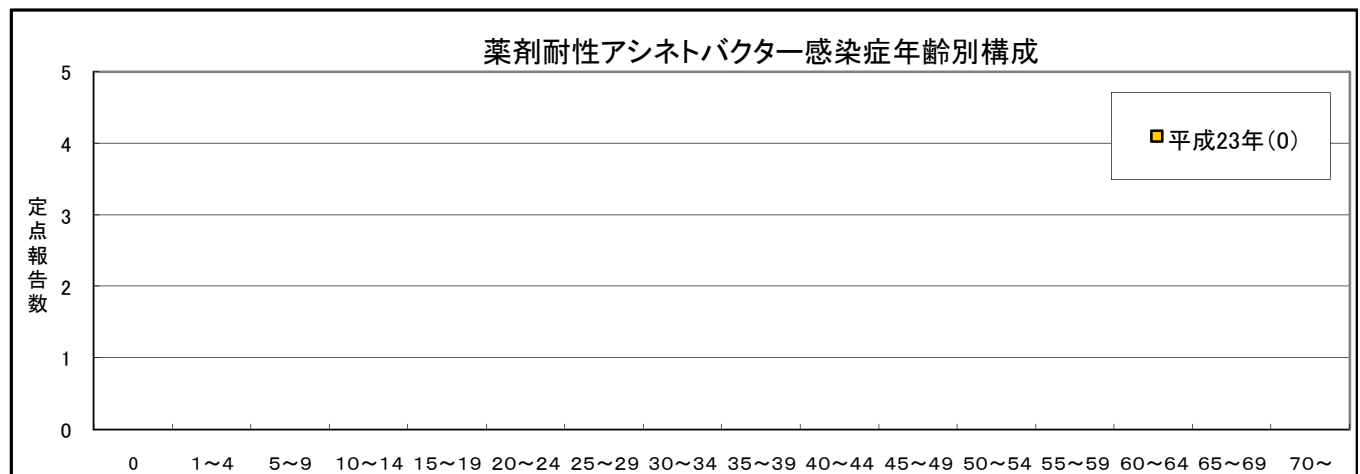
(7基幹定点)

定点からの報告はなかった。

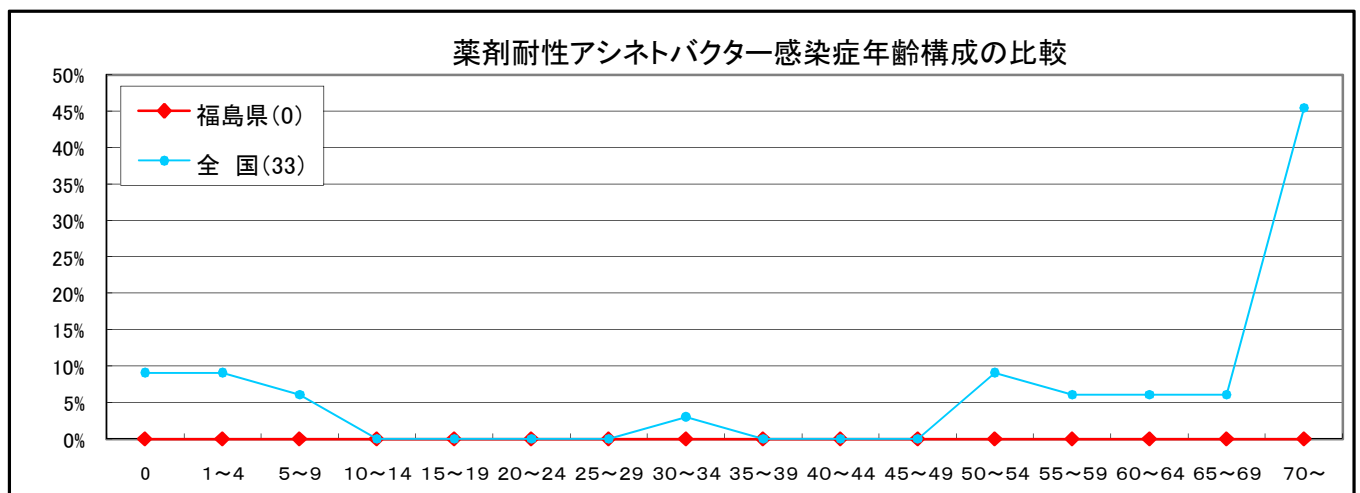


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成23年(0)	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成23年 県内の年齢別構成



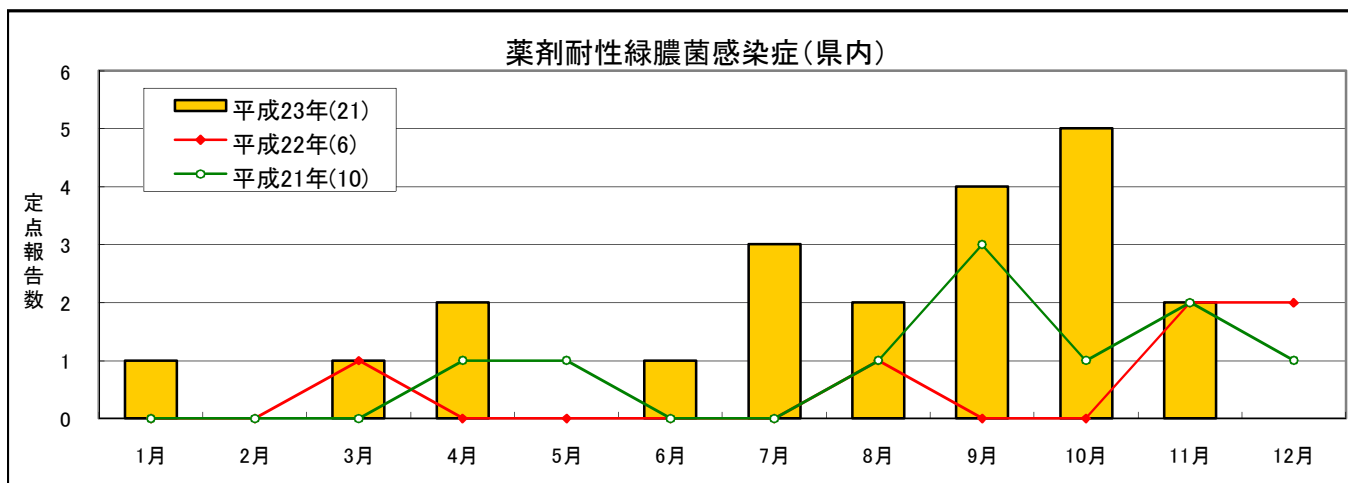
平成23年 年齢構成の比較



(101)薬剤耐性緑膿菌感染症

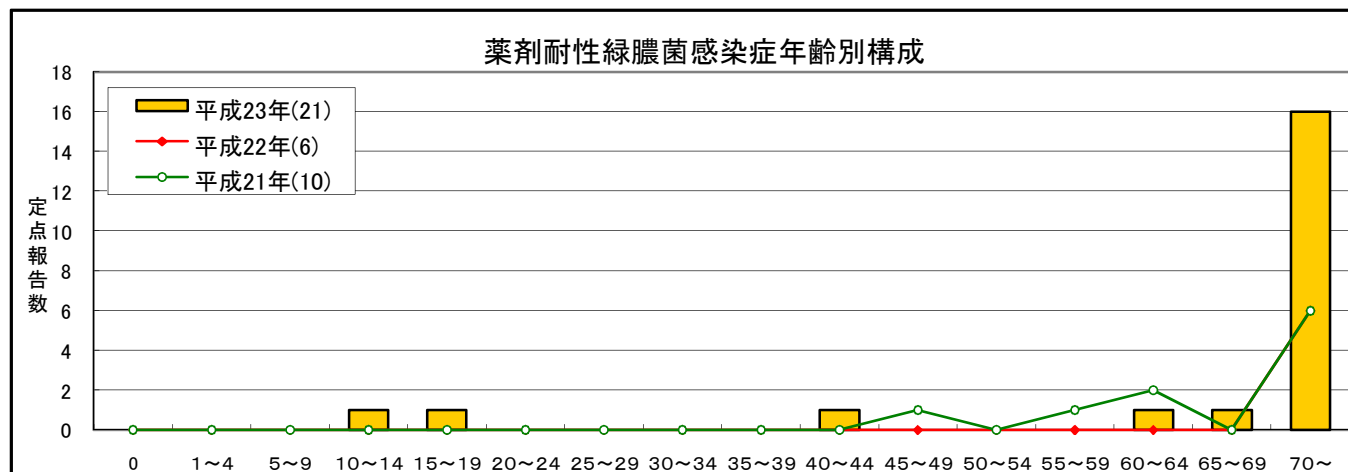
(7基幹定点)

定点からの年間報告数は21例あり、70歳以上の報告が多かった。

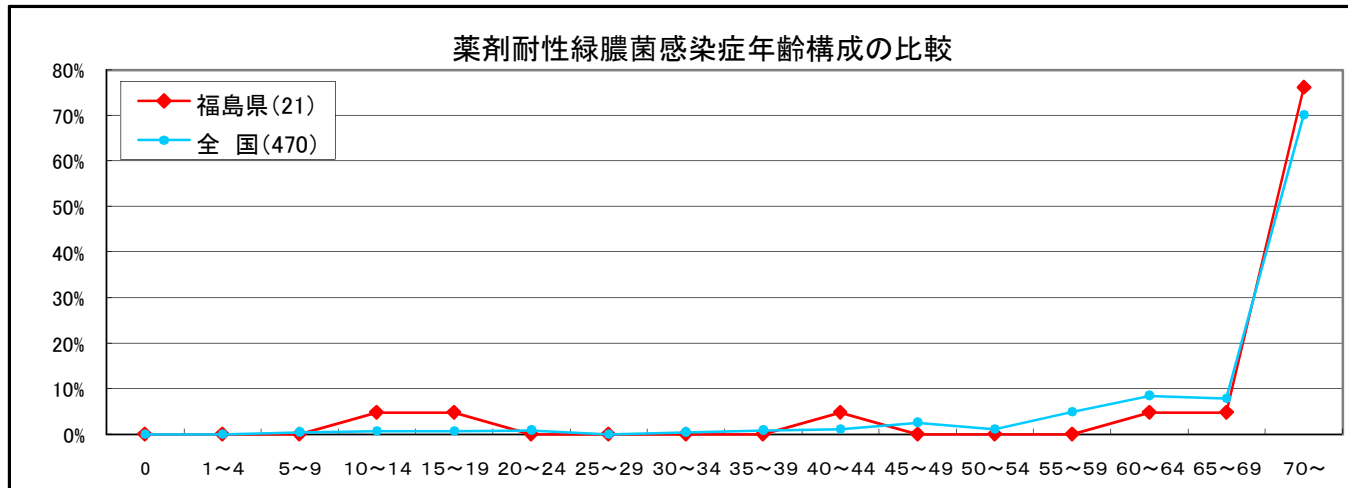


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
平成23年(21)	1	0	1	2	0	1	3	2	4	5	2	0	21
平成22年(6)	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	2	6
平成21年(10)	0	0	0	1	1	0	0	1	3	1	2	1	10

平成21～23年 県内の年齢別構成



平成23年 年齢構成の比較



(4) 法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症結果報告

● 法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症対象疾患 (定点把握)

- (104) 摂氏 38 度以上の発熱及び呼吸器症状 [明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く]
- (105) 発熱及び発しん又は水疱 [ただし、当該疑似症が二類感染症、三類感染症、四類感染症及び五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合を除く]

● 法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症対象疾患 (定点把握)
患者地域別定点機関数

	疑 似 症 定 点
県 北	30
郡山市	20
県 中	13
県 南	9
会 津	16
南会津	4
相 双	11*
いわき市	21
計	124*

*平成 24 年 2 月現在, 稼働していない医療機関あり

Ⅲ 検 査 情 報

(1) 2011 年感染症発生動向調査事業報告 (ウイルス)

(2) 2011 年感染症発生動向調査事業報告 (細菌)

2011年感染症発生動向調査事業報告（ウイルス）

北川和寛 塚田敬子 五十嵐郁美 門馬直太 二本松久子 金成篤子 平澤恭子¹⁾ 佐藤弘子
微生物課, ¹⁾ 総合衛生学院

はじめに

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、県内の感染症治療、発生予防に役立つ情報の提供を目的として、対象病原体について感染症発生動向調査を行っている。本報では2011年のウイルス検索結果について報告する。

材 料

2011年1月から12月までの間に、県内の基幹定点7機関、インフルエンザ定点8機関、小児科定点5機関、眼科定点1機関において採取された987症例由来の咽頭拭い液、糞便、髄液、眼瞼拭い液等、計1080件を検体とした。なお、インフルエンザウイルスについては2010年10月から12月、ノロウイルスについては2010年11月と12月も対象とした。

方 法

RD-18S, HEp-2, Vero, LLCMK2, MDCK, B95aの6種類の細胞を用いてウイルス分離を実施した。分離ウイルスの同定には、抗血清を用いた中和試験を基本とし、補助的にダイレクトシークエンス法を行った。また、検体が糞便の場合には、ラテックス凝集反応によるアデノウイルス、ロタウイルスの検索及びRT-PCR法によるノロウイルス、サポウイ

ルス、アストロウイルス、アイチウイルスの検索も併せて行った。さらに、診断名や症状に応じて、細胞分離が困難なライノウイルス、RSウイルス、ヒトメタニューモウイルス、ヘルペスウイルス、パルボウイルス等のウイルスについては、遺伝子検査を行った。

結果及び考察

1 地区別ごとの検体症例数

各地区からの月別の検体症例数を表1に示す。また、居住地域別症例数を表2に示す。

郡山地区からの検体が多く、全体の66%を占めた。また、県中地区からの検体数が昨年は6件だったところが本年は99件と11、12月を中心に多く搬入された。なお、3月の大震災の影響により、4月は浜通りからの検体搬入がなく全体の検体数も少なかった。

2 検体の種類別検出状況

ウイルスの検体種類別検出状況を表3に示した。987症例1080件のうち、521症例540件の検体から568株のウイルスが検出され、検出率は50.0%と昨年より約10%上昇した¹⁾(表3)。

種類ごとではその他以外の全てで昨年より検出率が上がり¹⁾、特に流行のあった髄膜炎の患者の髄液からの検出率が高かった。

表1 月別地区別検体症例数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
県北	7	13	2	1	3	3	4	2	4	5	3	1	48
県中	7	1							5	6	44	36	99
県南	1		1	2	8	1		10	13		1	1	38
会津	18	11	8	2	5							1	45
南会津													
相双	5	11	2		1	4		9	6	3	2	6	49
郡山市	76	33	48	34	26	63	55	45	98	63	49	59	649
いわき市	16	11	5		7	4	1	6	3	3	1	2	59
計	130	80	66	39	50	75	60	72	129	80	100	106	987

表2 居住地域別症例数

地域名	症例数	地域名	症例数
福島市	43	東白川郡	7
本宮市	37	会津若松市	31
二本松市	8	喜多方市	1
伊達市	3	耶麻郡	11
伊達郡	2	河沼郡	2
安達郡	14	相馬市	29
須賀川市	72	南相馬市	9
田村市	17	相馬郡	9
田村郡	28	双葉郡	8
石川郡	38	郡山市	499
岩瀬郡	15	いわき市	59
白河市	22	県外	9
西白河郡	14		
計		987	

表3 検体種類別検出検体数

	咽頭	糞便	髄液	眼瞼	その他	合計
受付検体数	687	271	100	7	15	1,080
検出検体数	376	127	31	2	4	540
検出率(%)	54.7	46.9	31.0	28.6	26.7	50.0

3 月別検出状況

月別検体症例数，検出率を図1に示した。

ウイルス検出症例数は1月が94症例と最も多く，うちインフルエンザウイルスA(H1)型が53症例を占めていた。

また，9月が64症例と2番目に多く，髄膜炎，手足口病，ヘルパンギーナの患者からそれぞれエコーウイルス9型，コクサッキーウイルスA6型，コクサッキーウイルスA10型が多く分離検出された。

4 ウイルス別検出状況

月別ウイルス検出状況を表4に示した。また，複数ウイルスが検出された27症例を表5に示した。

1) アデノウイルス

年間を通じて42症例から43株が検出された。アデノウイルス3型が最も多く，16症例から16株検出された。次いで，昨年最も多く検出された2型¹⁾が8症例から9株，1型が6症例から8株検出された。なお，アデ

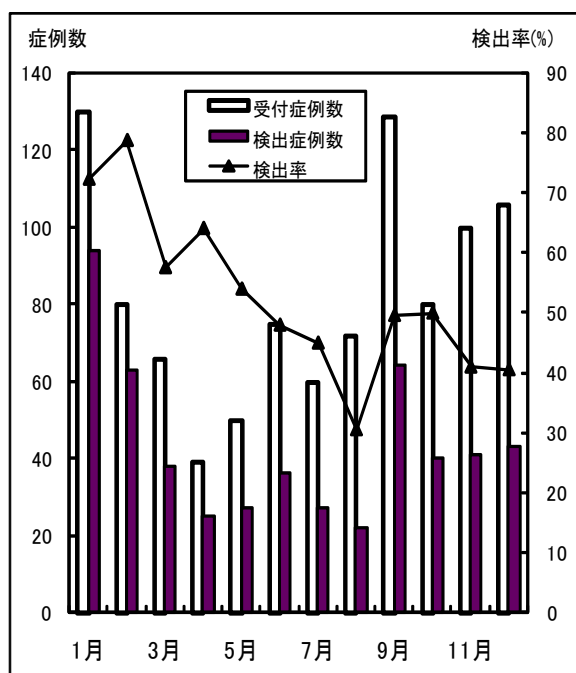


図1 月別検体症例数と検出率

ノウイルス3型は，全て細胞分離ではなく遺伝子検査での検出であった。また，型別が不能であった1症例1株は，遺伝子検索によりアデノウイルスと同定された。

2) エンテロウイルス

エンテロウイルスは150症例から158株検出された。

最も多く検出されたのは，エコーウイルス9型で45症例から53株検出された。7月から11月に採取された髄膜炎症例から51株検出された。他のエコーウイルスは，3型が手足口病症例1症例から1株，6型が髄膜炎症例3症例から3株，25型が胃腸炎と熱性痙攣症例の2症例から3株検出された。

パレコウイルスは，1型が9症例から9株，3型が4症例から5株検出された。1型の1株はヘルパンギーナ症例から，3型の1株は手足口病の症例からの検出であった。

コクサッキーA群ウイルスについて，昨年は全く検出されなかったが，本年は4型，5型，6型，9型，10型，16型の6種類が7月から11月採取の検体から検出された。うち6型は30症例から31株，16型は18症例から19株の検出があり，いずれも主に手足口病症例からの検出であった。また，10型は，

表4 月別ウイルス検出症例数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
Adeno 1	2★ (3)				2 (2)			1★ (2)			1★ (1)		6 (8)
Adeno 2	4★ (5)					1 (1)	3★ (3)						8 (9)
Adeno 3					1 (1)		4 (4)	2 (2)	4 (4)		3 (3)	2 (2)	16 (16)
Adeno 5						1★ (1)	1 (1)	1 (1)					3 (3)
Adeno 6	2★ (2)												2 (2)
Adeno 41	1 (1)					1 (1)				2 (2)		2 (2)	6 (6)
Adeno sp.							1 (1)						1 (1)
Coxsackie A4										1 (1)			1 (1)
Coxsackie A5									1 (1)				1 (1)
Coxsackie A6								2★ (2)	15 (15)	11★ (12)	1 (1)	1 (1)	30 (31)
Coxsackie A9												1 (1)	1 (1)
Coxsackie A10								4 (4)	15★ (15)	3★ (3)			22 (22)
Coxsackie A16									2★ (3)	6★ (6)	6 (6)	4 (4)	18 (19)
Coxsackie B2									1 (1)				1 (1)
Coxsackie B4	2★ (2)												2 (2)
Coxsackie B5									1 (1)		3 (3)	2★ (2)	6 (6)
Echo 3									1 (1)				1 (1)
Echo 6								1 (1)				2 (2)	3 (3)
Echo 9							9★ (11)	4★ (5)	16★ (19)	6★ (8)	10 (10)		45 (53)
Echo 25	1★ (1)	1 (2)											2 (3)
Polio						1★ (1)	1 (1)	1★ (1)			1 (1)		4 (4)
Parecho 1									2★ (2)	4★ (4)	2 (2)	1 (1)	9 (9)
Parecho 3							1 (1)		3★ (4)				4 (5)
Influenza A(H1pdm)	53★ (54)	29★ (29)	12 (12)	1 (1)									95 (96)
Influenza A(H3)	7 (7)	20 (20)	11 (11)	17 (17)	6 (6)	1 (1)						12 (12)	74 (74)
Influenza B(ビクトリア)	1 (1)	3 (3)	6 (6)	3 (3)	13 (13)	17 (17)	1 (1)						44 (44)
Parainfluenza 3							3 (3)						3 (3)
Herpes simplex type 1				2 (2)		1 (1)							3 (3)
Human herpes 4												1 (1)	1 (1)
Human herpes 5						1 (1)				3★ (3)			4 (4)
Mumps								1 (1)					1 (1)
Noro G I								1★ (1)			1 (1)		2 (2)
Noro G II	19★ (19)	10★ (10)	5 (5)	1 (1)		1★ (1)					5★ (5)	11 (11)	52 (52)
Parvo B19	1 (1)		1 (1)						1 (1)	1★ (2)			4 (5)
Rhino sp.					1 (1)	1★ (1)		1★ (1)	4★ (4)	6★ (6)	3 (3)		16 (16)
Human Metapneumo						1★ (1)	1 (1)		1 (1)	1 (1)			4 (4)
Rota A	4 (4)			1 (1)	4 (4)	12★ (12)	2★ (2)	1 (1)					24 (24)
RS A	1 (1)	1 (1)	1 (1)								4 (4)		7 (7)
RS B	3★ (3)		1 (1)					1 (1)		1★ (1)	3 (3)	6★ (6)	15 (15)
Astro			1 (1)			2★ (2)	2★ (2)	2 (2)					7 (7)
Sapo	1★ (1)							1★ (1)					2 (2)
Rickettsia japonica								1 (1)					1 (1)
症例数 (株数)	94 (105)	63 (65)	38 (38)	25 (25)	27 (27)	36 (41)	27 (31)	22 (27)	64 (72)	40 (50)	41 (42)	44 (45)	521 (568)
受付検体症例数	130	80	66	39	50	75	60	72	129	80	100	106	987
検出率	72.3	78.8	57.6	64.1	54.0	48.0	45.0	30.6	49.6	50.0	41.0	41.5	52.8

☆同一症例複数ウイルス検出を含む

()検出株数

表5 複数ウイルスが検出された症例(検体)

No.	検出ウイルス	採取月日	診断名	年齢	性別	住所	検査材料	発熱(℃)	医療機関名	保健所
1	RS B Adeno 6	H22.11.30	気管支肺炎	4歳	男	郡山市	咽頭ぬぐい液	39.0	菊池	郡山市
2	Sapo Adeno 2	H22.12.8	急性胃腸炎 急性気管支炎	8ヶ月	女	郡山市	糞便	38.5	菊池	郡山市
3	Noro GⅡ Echo 25	H22.12.13	感染性胃腸炎	1歳	男	いわき市	糞便	36.9	相原	いわき市
4	RS B Adeno 1 Noro GⅡ Adeno 1	H22.12.14	RSウイルス気管支炎 胃腸炎	1歳	男	相馬市	咽頭ぬぐい液	39.4	公立相馬	相双
5	Noro GⅡ Adeno 2	H22.12.14	RSウイルス気管支炎 胃腸炎	1歳	男	相馬市	糞便	39.4	公立相馬	相双
6	Noro GⅡ Adeno 2	H22.12.15	アデノウイルス感染症	1歳	女	郡山市	糞便	40.0	太田西ノ内	郡山市
7	Noro GⅡ Coxsackie B4	H22.12.25	急性胃腸炎	2歳	男	本宮市	糞便	不明	太田西ノ内	郡山市
8	Rota A Astro Rota A Polio 1	H23.5.6	感染性胃腸炎	2歳	女	石川郡 平田村	糞便	37.2	菊池	郡山市
9	Rota A Polio 1 Rhino sp. Human Metapneumo	H23.5.19	感染性胃腸炎	1歳	女	郡山市	糞便	39.0	菊池	郡山市
10	Human Metapneumo Adeno 5 Noro GⅡ	H23.5.21	気管支肺炎	1歳	男	郡山市	咽頭ぬぐい液	40.0	菊池	郡山市
11	Adeno 5 Noro GⅡ	H23.5.23	感染性胃腸炎	11ヶ月	男	郡山市	糞便	不明	菊池	郡山市
12	Rota A Astro	H23.5.31	感染性胃腸炎 ロタウイルス感染症	1歳	女	郡山市	糞便	37.5	菊池	郡山市
13	Rota A Astro	H23.6.3	感染性胃腸炎	2歳	女	郡山市	糞便	39.0	菊池	郡山市
14	Adeno 2 Astro	H23.6.20	感染性胃腸炎	1歳	男	田村郡 三春町	糞便	38.0	菊池	郡山市
15	Polio 2 Sapo	H23.7.16	けいれん	2歳	女	郡山市	糞便	37.7	太田西ノ内	郡山市
16	Adeno 1 Noro GⅠ	H23.7.20	頸部リンパ腺炎, 急性胃腸炎	10歳	男	郡山市	糞便	39.1	菊池	郡山市
17	Coxsackie A6 Rhino sp.	H23.7.30	手足口病	1歳	男	西白河郡 西郷村	咽頭ぬぐい液	38.2	白河厚生	県南
18	Rhino sp. Coxsackie A10	H23.8.1	手足口病	3歳	男	いわき市	咽頭ぬぐい液	38.0	相原	いわき市
19	Rhino sp. Parecho 3	H23.8.12	手足口病	3歳	男	郡山市	咽頭ぬぐい液	36.7	菊池	郡山市
20	Parecho 1 Coxsackie A10	H23.8.29	ヘルパンギーナ	8ヶ月	男	安達郡 大玉村	咽頭ぬぐい液	39.4	菊池	郡山市
21	RS B Parecho 1	H23.8.31	RSウイルス感染症	11ヶ月	男	郡山市	咽頭ぬぐい液	37.8	菊池	郡山市
22	Rhino sp. Coxsackie A10	H23.9.5	ヘルパンギーナ	3歳	女	郡山市	咽頭ぬぐい液	38.5	菊池	郡山市
23	Human herpes 5 Parecho 1	H23.9.7	口内炎	1歳	男	南相馬市	咽頭ぬぐい液	38.9	公立相馬	相双
24	Rhino sp. Coxsackie A10	H23.9.7	ヘルパンギーナ	6歳	女	郡山市	咽頭ぬぐい液	39.1	菊池	郡山市
25	Rhino sp. Coxsackie A16	H23.9.8	手足口病	4歳	女	郡山市	咽頭ぬぐい液	38.0	菊池	郡山市
26	Rhino sp. Coxsackie A16	H23.9.20	手足口病	1歳	男	郡山市	咽頭ぬぐい液	38.6	菊池	郡山市
27	Adeno 1 Noro GⅡ	H23.10.18	感染性胃腸炎	1歳	男	東白川郡 棚倉町	糞便	39.6	菊池	郡山市
28	RS B Coxsackie B5	H23.10.31	喘息性気管支炎	8ヶ月	男	郡山市	咽頭ぬぐい液	38.0	菊池	郡山市

主にヘルパンギーナ症例から 18 症例 19 株検出された。コクサッキー B 群ウイルスは、2 型が 1 症例から 1 株、4 型が 2 症例から 2 株、5 型が 6 症例から 6 株検出された。いずれも胃腸炎や上気道炎・下気道炎の症例からの検出であったが、5 型については、髄膜炎と手足口病の症例 1 例ずつからの検出があった。

ポリオウイルスは 4 症例から 4 株検出された。3 症例はワクチン投与後の検出であり、ワクチン由来と考えられる。残り 1 症例はワクチン投与者との接触によると考えられ、ポリオ様症状はみられなかった。

3) インフルエンザウイルス (図 2)

2010/2011 シーズン最初に検出されたのは、A (H3)型であった。その後 A (H3)型は、2 月の 20 症例からの検出をピークに 4 月まで検出された。一方 A(H1)型は、12 月に 7 症例から検出されたのを始めにして 1 月の 53 症例をピークに 4 月まで検出された。また、B 型は 1 月に 1 症例検出があった後 6 月の 17 症例をピークに 7 月まで検出された。20010/2011 シーズンは A(H1)型を主流とした A (H3)型と B 型の 3 種混合流行であった。これは、全国とほぼ同じ状況²⁾であった。

2011/2012 シーズンの開始は、12 月に A (H3) 型のみ 12 症例から検出された。

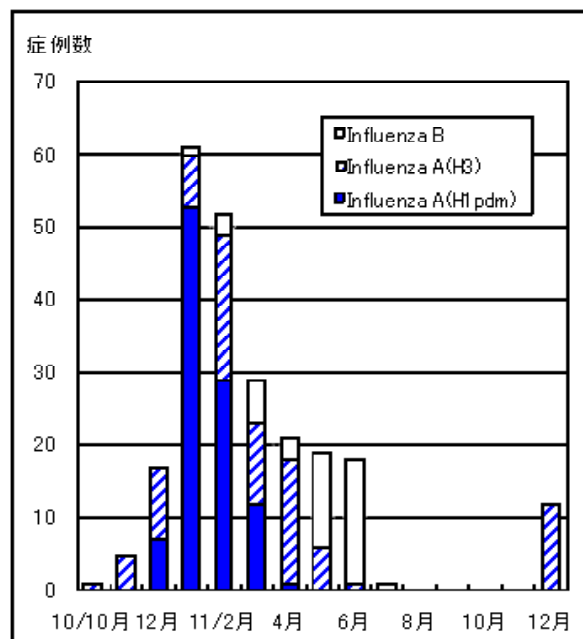


図 2 月別インフルエンザウイルス検出症例数

4) ヘルペスウイルス

単純ヘルペスウイルス 1 型が 3 症例から 3 株検出された。診断名は発疹症と上気道炎であった。

ヒトヘルペスウイルス 4 型が 1 症例から、5 型が 4 症例から検出された。診断名は口内炎、発疹症、上気道炎、下気道炎であった。

5) ムンプスウイルス

ムンプスウイルスは 8 月に採取された相双地区の髄膜炎の 3 歳女子の髄液から 1 株検出された。

6) ノロウイルス (図 3)

2010/2011 シーズンは 11 月に 1 症例、12 月に 14 症例から検出され、1 月の 19 症例をピークに 8 月まで合計 51 症例から 51 株検出された。遺伝子型は、8 月に検出された 1 症例を除いて全て G II であった。

2011/2012 シーズンは 11 月と 12 月で 17 症例から 17 株検出されており、11 月に検出された 1 症例を除いて全て G II であった。

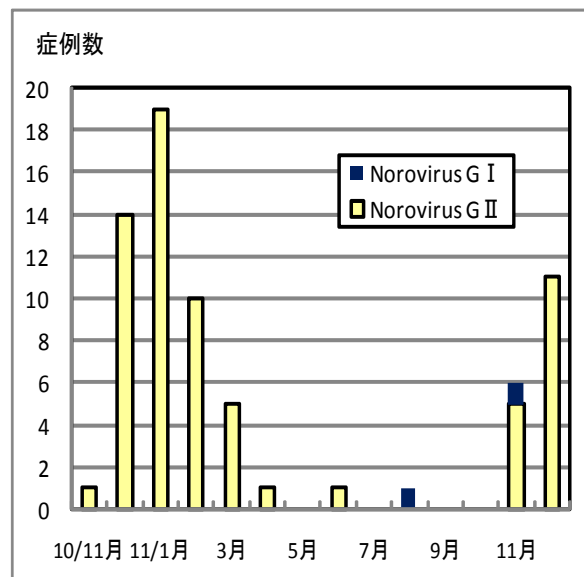


図 3 月別ノロウイルス検出症例数

7) ロタウイルス

1 ~ 8 月にかけて 24 症例から検出された。症例はすべて 1 ~ 8 歳の幼児であった。

8) その他のウイルス

RS ウイルスは全て下気道炎症例からの検出で、A 型は 7 症例から、B 型は 15 症例から検出された。4 歳児と 5 歳児の各 1 症例以外は全て 2 歳未満の乳幼児であった。

パルボウイルス B19 はパルボウイルス感染症疑いと不明熱、上気道炎の 4 症例から 5 株検出された。

胃腸炎原因ウイルスであるサポウイルスは 2 症例から 2 株、アストロウイルスは 7 症例から 7 株検出された。サポウイルスは 1 月に G I、8 月に G II が 1 株ずつ検出された。

リケッチア・ジャポニカは 8 月に 1 症例から 1 株検出された。診断名は日本紅斑熱で、三重県からいわき市に戻った 11 歳男子の痂皮から検出された。

5 診断名別検出状況

診断名別検出状況を表 6 に示した。

インフルエンザの症例が本年も最も多く、231 症例の検体が搬入され、209 症例からウイルスが検出された。検出率は 90.5% と高かった。検出されたウイルスは 1 件を除いてすべてインフルエンザウイルスであった。この 1 件は糞便検体からノロウイルス G II が検出されたもので、同一症例の咽頭ぬぐい液からは、インフルエンザウイルス A(H1)型が検出された。

胃腸炎は 207 症例の検体が搬入され、107 症例からウイルスが検出された。検出ウイルスはノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス、エコーウイルスなど様々であったが、ノロウイルスが 53 症例と検出症例の 49.5% を占め、次いでロタウイルスが 23 症例 21.5% であった。

手足口病について全国的には 1981 年の感染症発生動向調査開始以来最大の流行であった³⁾が、本県においても過去 10 年では平成 19 年に次ぐ流行^{4) - 7)}で、定点医療機関からの患者報告数が昨年約 1.5 倍⁴⁾あった。検体も前年の約 3 倍¹⁾の 94 症例の検体が搬入され、このうち 54 症例からウイルスが検出された。検出ウイルスは、コクサッキー A 群ウイルスが 46 症例から検出があり検出症例の 85.2% を占めた。内訳は、6 型が 25 症例、16 型が 16 症例、10 型が 5 症例であった。コクサッキーウイルス A 6 型、16 型を主とした流行は、全国と同様⁸⁾であった。他に、ライノウイルスが 9 症例、コクサッキーウイルス B 5 型とエコーウイルス 3 型及び 9 型及び

パレコウイルス 3 型が 1 症例ずつ検出された。ライノウイルスはコクサッキー A 群ウイルスと複数検出だった症例が 4 症例、パレコウイルスと複数検出だった症例が 1 症例あった。前年に検出され、全国的な流行のあったエンテロウイルス 71 型^{1) 8)}の検出はなかった。

髄膜炎について本年は郡山市において流行があり⁴⁾、77 症例の検体の搬入があった。この内 48 症例からウイルス検出があり、62.3% とインフルエンザに次いで高い検出率であった。検出ウイルスは、エコーウイルス 9 型が 40 症例であり検出症例の 83.3% を占めた。エコーウイルス 9 型は、過去 10 年で 2009 年に 1 症例⁹⁾、2004 年に 4 症例¹⁰⁾、2002 年に 16 症例¹¹⁾から検出されているが、髄膜炎症例からの検出は、2002 年の 2 症例¹¹⁾からのみであった。全国的には、2005 年に最も多く検出された¹²⁾が、その他の年の検出は少なく、本年も他県においてはほとんど検出がみられなかった。他の検出ウイルスは、ムンプスウイルス、コクサッキーウイルス A 群の 4 型、9 型、16 型、B 群の 5 型が各 1 症例ずつ、エコーウイルス 6 型が 3 症例から検出された。12 月にコクサッキーウイルス A 9 型が検出された相双地区の症例以外は、全て郡山市からの症例であった。

ヘルパンギーナは 41 症例の検体が搬入され、17 症例からウイルスが検出された。検出ウイルスはコクサッキーウイルス A10 型が 13 症例から、6 型が 4 症例から検出され、A10 型の検出された症例 3 症例からライノウイルス 1 症例、パレコウイルス 1 型が複数検出された。

上気道炎は 113 症例の検体が搬入され、33 症例からウイルスが検出された。そのうち 17 症例からアデノウイルスが検出された。

下気道炎は 98 症例の検体が搬入され、34 症例からウイルスが検出された。検出ウイルスは RS ウイルスが最も多く 20 症例から検出され、以下ヒトメタニューモウイルスが 4 症例、コクサッキーウイルス B 5 型が 3 症例、パレコウイルスとパラインフルエンザ 3 型が 2 症例などであった。

表6 診断名別ウイルス検出症例数

症例数	インフル エンザ	胃腸炎	手足口 病	髄膜炎	ヘルパン ギーナ	上気道 炎	下気道 炎	口内炎	発疹症	熱性痙 攣	結膜炎	その 他	計
Adeno 1		4☆				2							6
Adeno 2		2☆				5☆			1				8
Adeno 3		8				7					1		16
Adeno 5		1☆				2							3
Adeno 6						1	1☆						2
Adeno 41		5										1	6
Adeno sp.											1		1
Coxsackie A4				1									1
Coxsackie A5									1				1
Coxsackie A6			25☆		4	1							30
Coxsackie A9				1									1
Coxsackie A10			5☆		13☆	4							22
Coxsackie A16		1	16☆	1									18
Coxsackie B2		1											1
Coxsackie B4		1☆					1						2
Coxsackie B5			1	1		1	3☆						6
Echo 3			1										1
Echo 6				3									3
Echo 9		3	1	40		1							45
Echo 25		1☆								1			2
Polio		2☆								1☆		1	4
Parecho 1		5			1☆		1	1☆					9
Parecho 3			1☆			1	1			1			4
Influenza A(H1)	94☆					1							95
Influenza A(H3)	73						1						74
Influenza B(ビクトリア)	41					3							44
Parainfluenza 3						1	2						3
Herpes simplex type 1						1			2				3
Human herpes 4							1						1
Human herpes 5						1		1☆	2				4
Mumps				1									1
Noro G I		2☆											2
Noro G II	1☆	51☆											52
Parvo B19						1			2			1	4
Rhino sp.		2	9☆		2☆	1	1☆					1	16
Human Metapneumo							4☆						4
Rota A		23☆					1						24
RS A							7						7
RS B		2☆					13						15
Astro		6☆								1			7
Sapo		1☆								1☆			2
Rickettsia japonica												1	1
陽性症例数	209	107	54	48	17	33	34	1	7	4	2	5	521
受付検体症例数	231	207	94	77	41	113	98	5	29	42	8	42	987
検出率 (%)	90.5	51.7	57.4	62.3	41.5	29.2	34.7	20.0	24.1	9.5	25.0	11.9	52.8

☆同一症例複数ウイルス検出を含む

謝 辞

検体採取等本事業にご協力いただいた病原体定点医療機関の諸先生方に深謝いたします。

引用文献

- 1) 北川和寛, 塚田敬子, 五十嵐郁美, 他. 2010年感染症発生動向調査事業報告(ウイルス). 福島県衛生研究所年報 2010 : 55-60.
- 2) 国立感染症病原体情報センター
<https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data2j.pdf> 2012/2/22
- 3) 国立感染症研究所. <特集>手足口病 2002～2011年. 病原微生物検出情報 2012 ; 33 : 1-2.
- 4) 福島県衛生研究所. 福島県感染症週報 2011年第52週. 2011;52:1-13.
- 5) 福島県感染症情報センター. 平成20年福島県感染症発生動向調査事業報告書 2008;22.
- 6) 福島県感染症情報センター. 平成17年福島県感染症発生動向調査事業報告書 2005;16.
- 7) 福島県感染症情報センター. 平成15年福島県感染症発生動向調査事業報告書 2003;21.
- 8) 国立感染症病原体情報センター
<https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data37j.pdf> 2012/2/22
- 9) 五十嵐郁美, 北川和寛, 門馬直太, 他. 2009年感染症発生動向調査事業報告(ウイルス). 福島県衛生研究所年報 2009 : 59-64.
- 10) 金成篤子, 慶野昌明, 水澤丈子, 他. 2004年感染症発生動向調査事業報告(ウイルス). 福島県衛生研究所年報 2004 : 54-58.
- 11) 慶野昌明, 菅野正彦, 金成篤子, 他. 平成14年感染症発生動向調査(ウイルス検出状況). 福島県衛生研究所年報 2002 : 41-45.
- 12) 国立感染症病原体情報センター
<http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/circle-g/meningi/menin0307j.html> 2012/2/22

2011 年感染症発生動向調査事業報告（細菌）

渡邊奈々子 千葉一樹 菅野奈美 遠藤嘉子 小黒祐子 佐藤弘子
微生物課

はじめに

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、県内の感染症の治療、発生予防に役立つ情報の提供を目的として、対象病原体について感染症発生動向調査を行っている。本報では 2011 年の細菌検索結果について報告する。

材 料

2011 年 1 月から 12 月までの間に、県内の 9 定点医療機関において採取された 339 件を対象とした。なお、輸送培地による検体の搬入は 132 件、菌株による搬入は 207 件であった。

検体・菌株の月別内訳を表 1 に示す。咽頭拭い液 120 件、後鼻腔拭い液 187 件、糞便 7 件、髄液 8 件、その他 17 件であった。

方 法

A 群溶血性レンサ球菌（以下、“A 群溶レン菌”とする）、細菌性髄膜炎起因菌、百日咳菌、感染性胃腸炎起因菌等を、厚生省監修「微生物検査必携・第 3 版」に従い検索した。

肺炎球菌、インフルエンザ菌については、

薬剤耐性遺伝子の検出を既報¹⁾の方法により実施、判定した。また、薬剤感受性試験は各医療機関で実施した結果について記述した。

結果及び考察

1 患者居住地域別症例数

患者居住地域別の検体数では、全検体 339 件のうち相双地区で 183 件 54.0 % を占め、地域に偏りが認められた。郡山地区からの検体が昨年の倍以上に増えた（表 2）。

表 2 居住地域別検体数

地域名	検体数	地域名	検体数
福島市	2	喜多方市	1
本宮市	5	河沼郡	1
伊達郡	1	南会津郡	5
安達郡	2	相馬市	130
須賀川市	3	南相馬市	35
田村市	1	相馬郡	15
田村郡	2	双葉郡	3
白河市	2	郡山市	120
東白川郡	1	いわき市	1
会津若松市	3	県外	6
		計	339

表 1 月別・検査材料別検体数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
咽頭拭い液	5	14	13	5	16	19	3	2	1	6	8	28	120
後鼻腔拭い液	15	14	13	12	5	17	22	2	24	23	24	16	187
	(15)	(14)	(13)	(12)	(5)	(17)	(22)	(2)	(24)	(23)	(24)	(16)	(187)
糞便	1					1	1	1	1	1		1	7
						(1)	(1)					(1)	(3)
髄液	1	1	1	1				2			2		8
	(1)	(1)		(1)				(1)			(2)		(6)
その他*	3	1			2	1	1	3	3		2	1	17
	(3)	(1)			(1)	(1)	(1)	(2)	(2)				(11)
	25	30	27	18	23	38	27	10	29	30	36	46	339

*血液 4 件、組織 3 件、尿・結膜拭い液・膿・穿刺液各 2 件、胆汁・喀痰各 1 件

() 菌株数

2 検査材料別検出状況

検査材料別の細菌分離率を表3に示す。132件中109件から112株の細菌が検出された。検出率は82.6%であった。

検出された検査材料の内訳は咽頭拭い液104件、糞便3件、髄液1件、その他1件であった。咽頭拭い液の受付検体数が昨年より倍以上に増え、糞便受付検体数は約1/4となった。また、その他の検出率は低かった。

表3 検査材料別分離率

	咽頭	糞便	髄液	他	計
受付検体数	120	4	2	6	132
検出検体数	104	3	1	1	109
検出細菌数	106	4	1	1	112
検出率(%)	86.7	75.0	50.0	16.7	82.6

3 細菌分離状況

表4に月別の細菌分離状況を示す。

1) 溶血性レンサ球菌

A群溶レン菌は103株が分離、あるいは菌株で搬入され、全て上気道拭い液（咽頭99株、後鼻腔4株）由来であった。A群溶レン菌の血清型は6種類に型別され、最も多く分離されたのはT-1型38株（36.9%）で、次いでT-12型36株（35.0%）、T-28型14株（13.6%）、T-4型8株（7.8%）、T-B3264型3株（2.9%）、T-6型1株（1.0%）であった。

図1に、本調査によるA群溶レン菌の主要T型別年次推移を示した。ここ数年流行の血清型であるT-25型が、2011年は分離されなかった。2010年にやや減少したT-1型がそれを補うように増加した。また、2010年に大きく増加したT-28型は、2011年も引き続き増加傾向であった。

G群溶レン菌は5株分離され、すべて咽頭拭い液由来であった。

B群溶レン菌は2株分離され、どちらも髄液由来で血清型はI a型、I b型であった。

2) 糞便・直腸拭い液からの腸管系病原菌

腸管系病原菌は7株が分離、あるいは菌株で搬入された。内訳は*Salmonella* 3株、下痢原性大腸菌2株、*Klebsiella oxytoca* 1株、*Klebsiella pneumoniae* 1株であった。

Salmonella の血清型はBraenderup 2株、

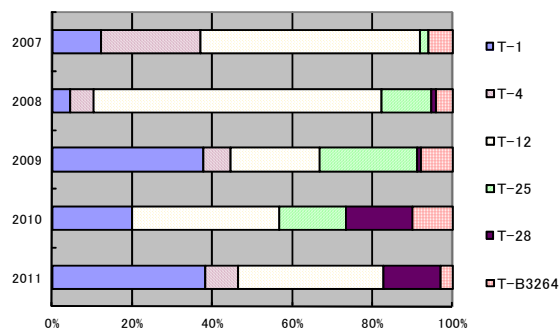


図1 A群溶レン菌の主要T型別年次推移

Typhimurium 1株であった。大腸菌の血清型はO1, O74が各1株で、どちらも毒素遺伝子は認められなかった。

3) 肺炎球菌

肺炎球菌は101株が分離、あるいは菌株で搬入された。後鼻腔拭い液由来が99株、髄液由来が2株であった。

薬剤耐性遺伝子の検出結果とClinical and Laboratory Standards Institute (CLSI)による薬剤感受性判定結果を表5、表6に示す。

遺伝子検査の結果、ペニシリン結合蛋白をコードする3種類の遺伝子(*pbp1a*, *pbp2x*, *pbp2b*)の内、何れかに変異が認められた株は101株中98株(97.0%)であった。その内訳は*pbp1a*変異2株、*pbp2x*変異14株、*pbp1a+2x*変異8株、*pbp2x+2b*変異28株、*pbp1a+2x+2b*変異46株であった。これらを遺伝子変異に基づいて分類すると、gPSSP 3株(3.0%)、gPISP 52株(51.5%)、gPRSP 46株(45.5%)であった。なお、髄液由来の2株はどちらも*pbp2x*変異のgPISPであった。

一方、CLSIによる薬剤感受性試験ではPSSP 20株(20.0%)、PISP 51株(51.0%)、PRSP 29株(29.0%)に分類された。このPSSP 20株の内、17株(85.0%)に*pbp*変異が認められ、PISP 51株の内16株(31.4%)に*pbp1a+2x+2b*変異が認められた。

マクロライド耐性遺伝子は、98株(97.0%)が保有していた。その内訳は、軽度耐性遺伝子である*mefA*保有が22株(21.8%)、高度耐性遺伝子である*ermB*保有が66株(65.3%)、両方を保有していたのは10株(9.9%)であった。

表4 月別細菌分離状況 (2011年1月~12月)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
A 群溶レン菌 T-1	1	2	5	1	8	6	2			3	1	9	38
A 群溶レン菌 T-4			1	2							2	3	8
A 群溶レン菌 T-6												1	1
A 群溶レン菌 T-12	1	8	5	2	4	5			2	2	7		36
A 群溶レン菌 T-28		2	1		1	3	1				2	4	14
A 群溶レン菌 T-B3264	1	1										1	3
A 群溶レン菌 T型不明	1	2											3
B 群溶レン菌		1						1					2
G 群溶レン菌	1		1			3							5

<i>E.coli</i> O1										1			1
<i>E.coli</i> O74								1			1		2
<i>S.Braenderup</i>							1					1	2
<i>S.Typhimurium</i>						1							1
<i>K.oxytoca</i>										1			1
<i>K.pneumoniae</i>									1				1
<i>E.cloacae</i>						1							1
<i>Corynebacterium</i> groupG								1					1
<i>N.meningitidis</i>								1					1
<i>N.subflava</i>					1								1
<i>C.perfringens</i>									1				1
<i>L.adecarboxylata</i>		1											1
<i>S.aureus</i>	4			1									5
<i>S.salivarius</i>											1		1

<i>S.pneumoniae</i> *1													
gPSSP							1		1		1		3
gPISP	4	3	4	3	2	5	6	1	10	4	4	6	52
gPRSP	5	2	2	4	1	1	6		6	9	6	4	46

<i>H.influenzae</i> *2													
gBLNAS	1	1	1			3	1		2	1		1	11
gLow-BLNAR		1		2		1					2	2	8
gBLNAR	4	5	4	4	2	4	7	1	6	5	8	5	55
gBLPAR							1						1
gBLPACR II		1	2							4	5	1	13
計	23	30	26	19	19	33	26	6	27	30	35	45	319

* 1 PSSP : ペニシリン感受性肺炎球菌, PISP : ペニシリン中等度耐性肺炎球菌, PRSP : ペニシリン耐性肺炎球菌

* 2 BLNAS : β ラクタマーゼ陰性アンピシリン感受性インフルエンザ菌, Low-BLNAR : β ラクタマーゼ陰性アンピシリン軽度耐性インフルエンザ菌, BLNAR : β ラクタマーゼ陰性アンピシリン耐性インフルエンザ菌, BLPAR : β ラクタマーゼ陽性アンピシリン耐性インフルエンザ菌, BLPACR-II : β ラクタマーゼ陽性アモキシシリン/クラブラン酸耐性-IIインフルエンザ菌

* 1, 2 遺伝子検査により薬剤感受性判定をした菌は genotype を表す「g」を付けて gPSSP のように表記する

表5 肺炎球菌の薬剤耐性遺伝子検出結果 (*pbp*変異)

		PCRによる薬剤耐性							計		
		gPSSP		gPISP				gPRSP			
		<i>pbp</i> 変異	変異なし	<i>pbp1a</i>	<i>pbp2x</i>	<i>pbp2b</i>	<i>pbp1a+2x</i>	<i>pbp1a+2b</i>		<i>pbp2x+2b</i>	<i>pbp1a+2x+2b</i>
CLSIによる薬剤耐性	PSSP	3		11		5			1	20	
	PISP			2	2		3		28	16	51
	PRSP									29	29
	未実施				1						1
	計	3		2	14		8		28	46	101

表6 肺炎球菌の薬剤耐性遺伝子検出結果 (マクロライド耐性)

	保有なし		<i>mefA+</i>		計
	<i>mefA</i>	<i>ermB</i>	<i>ermB</i>	<i>ermB</i>	
gPSSP		3			3
gPISP	3	5	40	4	52
gPRSP		17	23	6	46
計	3	22	66	10	101

肺炎球菌の *pbp* 変異率は年々上昇傾向にあり、2009年²⁾ 91.0%、2010年³⁾ 92.6%と続き、2011年は97.0%となった。この背景として、PISPの分離率が上がったこと、PSSPに分類されていたが遺伝子上ではいくつか *pbp* 変異が認められ、gPISPに判定された肺炎球菌が増えたこと、などが考えられた。

また、マクロライド耐性遺伝子の保有率は近年とほぼ同様であった。しかし、その中で *mefA+ermB* の保有率は9.9%となり、2009年22.4%、2010年21.0%と比較して激減した。

4) インフルエンザ菌

インフルエンザ菌は88株が分離、あるいは菌株で搬入された。後鼻腔拭い液由来が84株、結膜拭い液由来が2株、髄液由来が1株、胆汁由来が1株であった。インフルエンザ菌の血清型は、型不明が最も多く80株(90.9%)、次いでd型3株(3.4%)、b型2株(2.3%)、c型、e型、f型が各1株ずつ(1.1%)であった。

薬剤耐性遺伝子の検出結果とCLSIによる薬剤感受性判定結果を表7に示す。

遺伝子検査の結果、ペニシリン結合蛋白をコードする *ftsI* 遺伝子 (*pbp3-1*, *pbp3-2*) の何れかに変異が認められた株は88株中77株

(87.5%)であった。 β ラクタマーゼを産生するTEM遺伝子を保有していたのは14株(15.9%)であった。これらを遺伝子変異に基づいて分類すると、gBLNAS 11株(12.5%)、gLow-BLNAR 9株(10.2%)、gBLNAR 54株(61.4%)、gBLPAR 1株(1.1%)、gBLPACR-II 13株(14.8%)であった。なお、髄液由来の1株はgLow-BLNARであった。

一方、CLSIによる薬剤感受性試験ではBLNAS 29株(33.7%)、Low-BLNAR 10株(11.6%)、BLNAR 34株(39.5%)、BLPAR 13株(15.1%)に分類された。このBLNAS 29株の内18株(62.1%)に *pbp* 変異が認められた。

インフルエンザ菌の *pbp* 変異率は年々上昇傾向にあったが、2011年は87.5%で、2010年94.0%よりも低くなった。しかし、BLPARの分離率が例年以上に高く(2009年5.6%、2010年4.8%、2011年15.1%)、またそのほとんどが、 β ラクタマーゼ産生性で複数の *pbp* 変異を伴うgBLPACR-IIであった。今後経過を注視していきたい。

5) その他の検出菌

血液から4種類、*Clostridium perfringens*, *Staphylococcus aureus*, *Neisseria subflava*, *Leclercia adecarboxylata* が各1株分離され、*C.perfringens* の血清型は9型であった。髄液から *S.aureus*, *Streptococcus salivarius* が各1株分離され、尿から *Neisseria meningitidis*, *S.aureus* が各1株、咽頭拭い液からは *Enterobacter cloacae*, *S.aureus* が各1株分離された。また、組織から *S.aureus*, 喀痰から *Corynebacterium groupG* が各1株分離された。

表7 インフルエンザ菌の薬剤耐性遺伝子検出結果

		PCRによる薬剤耐性							
		gBLNAS	gLow-BLNAR	gBLNAR		gBLPAR	gBLPACR-II		
TEM		—	—	—		+	+		
<i>pbp</i> 変異		変異なし	<i>pbp3-1</i>	<i>pbp3-2</i>	<i>pbp3-1+3-2</i>	変異なし	<i>pbp3-2</i>	<i>pbp3-1+3-2</i>	計
CLSI に よる 薬剤 耐性	BLNAS	11	6	1	11				29
	Low-BLNAR				10				10
	BLNAR		1	5	27			1	34
	BLPAR					1	3	9	13
	未実施		2						2
計		11	9	6	48	1	3	10	88

まとめ

2011年は132件の検体が搬入され、112株の細菌が分離された。また、菌株として207株が搬入された。

分離した主な細菌はA群溶レン菌103株、G群溶レン菌5株、下痢原性大腸菌3株などであった。

また、薬剤耐性遺伝子検査を行った結果、肺炎球菌101株のうち98株から、インフルエンザ菌88株のうち77株から薬剤耐性遺伝子が検出された。

謝辞

検体採取等本事業にご協力いただいた病原体定点の医療機関の諸先生方に深謝いたします。

引用文献

- 1) 平沢恭子, 須釜久美子, 熊谷奈々子, 他. 2004年感染症発生動向調査事業報告(細菌). 福島県衛生研究所年報 2004; 22: 59-66.
- 2) 小黒祐子, 菅野奈美, 渡邊奈々子, 他. 2009年感染症発生動向調査事業報告(細菌). 福島県衛生研究所年報 2009; 27: 65-71.
- 3) 小黒祐子, 千葉一樹, 菅野奈美, 他. 2010年感染症発生動向調査事業報告(細菌). 福島県衛生研究所年報 2010; 28: 61-66.

平成 2 3 年
福島県感染症発生動向調査事業報告書
平成 2 4 年 3 月 発行

発 行：福島県衛生研究所

福島県感染症情報センター

〒 9 6 0 - 8 5 6 0

福島県福島市方木田字水戸内 1 6 番 6 号

T E L 0 2 4 - 5 4 6 - 7 1 0 4 (代)

F A X 0 2 4 - 5 4 6 - 8 3 6 4

E-mail eiseikenkyuu@pref.fukushima.lg.jp

U R L http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=14792